

公務員学科（2年課程）

第 1 学 年						
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	単位数	実務教員科目
一般科目	001	社会人総合演習Ⅰ	演習	必修	1	○
	002	社会人基礎Ⅰ	講義	必修	3	
	003	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	3	
	004	社会人基礎Ⅲ	講義	選必	3	
専門科目	005	適性検査演習Ⅰ	演習	選必	2	
	006	電卓技能	演習	選必	1	
	007	基礎国語Ⅰ	講義	選必	1	
	008	基礎数的A	講義	選必	2	
	009	社会科学A	講義	選必	1	
	010	総合演習A	演習	選必	3	
	011	文書処理技能Ⅰ	演習	選必	1	○
	012	コミュニケーション能力基礎	演習	選必	1	
	013	コミュニケーション能力A	演習	選必	3	
	014	適性検査演習Ⅲ	演習	選必	2	
	015	基礎国語Ⅱ	講義	選必	1	
	016	基礎数的B	講義	選必	2	
	017	基礎数的C	講義	選必	2	
	018	社会科学B	講義	選必	1	
	019	社会科学D	講義	選必	2	
	020	社会科学E	講義	選必	1	
	021	社会科学F	講義	選必	1	
	022	総合演習B	演習	選必	3	
	023	総合演習J	演習	選必	5	
	024	時事試験対策	講義	選必	1	
	025	応用国語演習Ⅰ	演習	選必	1	
	026	応用数的演習A	演習	選必	3	
	027	社会科学演習A	演習	選必	1	
	028	人文科学A	講義	選必	2	
	029	人文科学Ⅱ	講義	選必	1	
	030	適性検査演習Ⅳ	演習	選必	2	
	031	基礎国語演習Ⅰ	演習	選必	1	

032	基礎数的演習	演習	選必	2	
033	憲法概論	講義	選必	2	
034	憲法演習	演習	選必	2	
035	民法概論	講義	選必	3	
036	民法演習	演習	選必	3	
037	行政法概論	講義	選必	2	
038	行政法演習	演習	選必	2	
039	社会学	講義	選必	1	
040	ミクロ経済学	講義	選必	2	
041	ミクロ経済学演習	演習	選必	2	
042	マクロ経済学	講義	選必	2	
043	マクロ経済学演習	演習	選必	3	
044	財政学	講義	選必	1	
045	プレゼンテーション能力 I	演習	選必	1	○
046	適性検査演習 A	演習	選必	3	
047	基礎国語	講義	選必	1	
048	基礎数学 A	講義	選必	5	
049	基礎社会	講義	選必	3	
050	人文科学 C	講義	選必	2	
051	社会科学 C	講義	選必	2	
052	基礎社会 II	講義	選必	1	
053	総合演習 F	演習	選必	3	
054	総合演習 G	演習	選必	3	
055	総合演習 H	演習	選必	1	
056	社会人基礎 C	講義	選必	4	
057	社会人基礎 D	講義	選必	2	○
058	社会人総合演習 II	演習	選必	1	
059	適性検査演習 II	演習	選必	2	
060	商業簿記 III	講義	選必	3	
061	商業簿記 IV	講義	選必	1	
062	公務員基礎知識 I	講義	選必	4	
063	応用自然科学演習 I	演習	選必	1	
064	社会人総合実習 IV	演習	選必	4	○
065	プログラミング基礎 I	演習	選必	1	

066	プログラミング応用 I	演習	選必	3	
067	アプリケーション開発基礎 I	演習	選必	2	
068	アプリケーション開発応用 I	演習	選必	2	
069	コンピュータリテラシ	演習	選必	1	○
070	コンピュータリテラシ (表計算)	演習	選必	2	○
071	コンピュータリテラシ (文書処理)	演習	選必	2	○
072	コンピュータリテラシ (プレゼン)	演習	選必	1	○
073	コンピュータリテラシ (データベース)	演習	選必	1	○
074	システム開発基礎 I	演習	選必	2	○
075	システム開発応用 I	演習	選必	2	○
076	情報処理テクノロジー基礎	講義	選必	1	
077	情報処理マネジメント基礎	講義	選必	1	
078	情報処理ストラテジ基礎	講義	選必	1	
079	情報処理基礎演習	演習	選必	1	
080	情報処理テクノロジー応用 I	演習	選必	1	
081	情報処理マネジメント応用 I	演習	選必	1	
082	情報処理ストラテジ応用 I	演習	選必	1	
083	情報処理応用演習 I	演習	選必	1	
084	アルゴリズム基礎	講義	選必	1	
085	アルゴリズム応用	演習	選必	1	
086	情報セキュリティ基礎	講義	選必	1	
087	情報セキュリティ応用	講義	選必	1	
088	ネットワーク基礎	講義	選必	1	
089	ネットワーク応用	講義	選必	1	
090	システムアーキテクチャ I	演習	選必	1	
091	情報処理入門テクノロジー	講義	選必	1	
092	情報処理入門マネジメント	講義	選必	1	
093	情報処理入門ストラテジ	講義	選必	1	
094	情報処理入門演習	演習	選必	1	

1学年合計授業時間数・取得単位数

31

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人総合演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
		授業回数	30回
科目教員	尾形幸祐、高橋航、佐藤弘章、 蜂谷志穂、佐々木謙	成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員	佐々木謙		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	公務員として働いていく為に必要な倫理、規律、ルールがなぜ必要であるのか学習する。実務経験から、国家や地方の行政にこういった人材が求められているか、求められる人材になるためにはどんな知識が必要であるか教授する。		
実務経験教員の 実務経験内容	仙台市職員として長年勤務、副市長も歴任。仙台市地下鉄建設計画やプロスポーツチーム誘致等、様々な場面で地方行政に関わった。		
授業目的 到達目標	公務員として働いていく為に必要な倫理、規律、ルールがなぜ必要であるのか教授す。実務経験から、公務員にこういった人材が求められているか、求められる人材になるためにはどんな知識が必要であるか教授する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス／公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂 佐々木謙	
第2回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂	
第3回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂	

第4回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第5回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第6回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第7回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第8回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第9回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第10回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第11回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第12回	公務員倫理基礎	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第13回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂

第14回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第15回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第16回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第17回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第18回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第19回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第20回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第21回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第22回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第23回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂

第24回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第25回	公務員倫理実践	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第26回	郊外研修	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第27回	郊外研修	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第28回	郊外研修	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第29回	郊外研修	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂
第30回	公務員として働くために	尾形幸祐 高橋航 佐藤弘章 蜂谷志穂 佐々木謙
準備学習等	講義後、その内容を元にした課題やレポートの提出を行い、成績を評価する。レポートについては授業中にもある程度記入する時間を設けるが、時間内に終わらなかった分については各自取り組み、後日必ず提出すること。	
教科書 参考書等	国家公務員倫理教本（国家公務員倫理審査会） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	75回
科目教員	高橋航、蜂谷志穂、尾形幸祐	成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>社会人として必要なコミュニケーション能力の育成を目的とする。様々な視点から自己分析を行い、自己理解を深めることで豊かな自己表現力を養成する。</p> <p>また、社会問題（時事）研究と職種研究を並行して行い、自己分析とオーバーラップさせながら様々な面接試験に幅広く対応できることを目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/自己分析の要領・自己分析シート作成①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第2回	自己分析シート作成②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第3回	自己分析シート作成③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第4回	自己分析シート作成④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第5回	自己分析シート作成⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	

第6回	自己分析シート作成⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第7回	面接想定シート作成①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第8回	面接想定シート作成②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第9回	面接想定シート作成③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第10回	面接想定シート作成④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第11回	面接想定シート作成⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第12回	職種研究①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第13回	職種研究②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第14回	職種研究③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第15回	職種研究④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第16回	職種研究⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第17回	社会問題（時事）研究①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第18回	社会問題（時事）研究②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第19回	社会問題（時事）研究③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第20回	社会問題（時事）研究④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第21回	社会問題（時事）研究⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第22回	模擬面接（個人面接）①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第23回	模擬面接（個人面接）②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第24回	模擬面接（個人面接）③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第25回	模擬面接（個人面接）④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第26回	模擬面接（個人面接）⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第27回	体力試験対策①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第28回	体力試験対策②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第29回	体力試験対策③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第30回	体力試験対策④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第31回	校外研修事前準備	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第32回	校外研修	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第33回	校外研修	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第34回	校外研修	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第35回	職種研究⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第36回	職種研究⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第37回	職種研究⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第38回	職種研究⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第39回	職種研究⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第40回	面接想定シート作成⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第41回	面接想定シート作成⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第42回	面接想定シート作成⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第43回	面接想定シート作成⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第44回	面接想定シート作成⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第45回	模擬面接（個人面接）⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第46回	模擬面接（個人面接）⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第47回	模擬面接（個人面接）⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第48回	模擬面接（個人面接）⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第49回	模擬面接（個人面接）⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第50回	模擬面接（個人面接）⑪	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第51回	模擬面接（個人面接）⑫	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第52回	模擬面接（個人面接）⑬	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第53回	模擬面接（個人面接）⑭	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第54回	模擬面接（個人面接）⑮	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第55回	模擬面接（個人面接）⑯	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第56回	模擬面接（個人面接）⑰	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第57回	模擬面接（個人面接）⑱	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第58回	模擬面接（個人面接）⑱	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第59回	模擬面接（個人面接）⑳	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第60回	模擬面接（集團討論）①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第61回	模擬面接（集團討論）②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第62回	模擬面接（集團討論）③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第63回	模擬面接（集團討論）④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第64回	模擬面接（集團討論）⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第65回	模擬面接（集團討論）⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第66回	模擬面接（集團討論）⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第67回	模擬面接（集團討論）⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第68回	模擬面接（集團討論）⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第69回	模擬面接（集團討論）⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第70回	体力試験対策①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第71回	体力試験対策②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第72回	体力試験対策③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第73回	体力試験対策④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第74回	体力試験対策⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第75回	体力試験対策⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。各授業内で課題を課すことがある。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、鈴木 裕治、 竹村 幸生	授業回数	37回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識やビジネスマナーを学び、人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また、社会人基礎Ⅰに引き続き、ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び集計能力を高めるため、全国経理教育協会主催社会人常識マナー検定試験、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験及び日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 【社会人常識マナー】社会と組織 【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生	
第2回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）② 【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生	

第3回	<p>【社会人常識マナー】仕事と成果</p> <p>【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第4回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）①</p> <p>【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第5回	<p>【社会人常識マナー】一般知識</p> <p>【一般教養】漢字（熟語編）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第6回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）②</p> <p>【集計処理能力】電卓技能検定試験 対策問題演習③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第7回	<p>【社会人常識マナー】ビジネス計算</p> <p>【一般教養】漢字（熟語編）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第8回	<p>【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）①</p> <p>【集計処理能力】電卓技能検定試験 対策問題演習④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第9回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネスコミュニケーション</p> <p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第10回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑤</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第11回	<p>【社会人常識マナー】 社会人にふさわしい言葉遣い</p> <p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第12回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）①</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑥</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第13回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネス文書の書き方と留意点</p> <p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第14回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑦</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第15回	<p>【社会人常識マナー】 職場のマナー、来客応対</p> <p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第16回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題①（訓読み送り仮名編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑧</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第17回	<p>【社会人常識マナー】 電話応対、交際業務</p> <p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題②（熟語編）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第18回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題③（熟語編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑨</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第19回	<p>【社会人常識マナー】 文書類の受け取りと発送</p> <p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題④ （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第20回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題⑤ （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑩</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第21回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第22回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第23回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第24回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第25回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第1回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第27回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第2回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第3回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第4回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第5回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第31回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第32回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第33回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第34回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第35回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第36回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑥	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第37回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑦	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
準備学習等	予習と課題については適宜講義中に指示する。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>社会人常識マナー検定テキスト（株式会社エデュプレス） 社会人常識マナー検定試験 過去問題集（公益社団法人 全国経理教育協会） 漢字能力検定試験対策問題集2級（学校法人 大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験 第1回～第5回（学校法人 大原学園） 電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級問題（大原出版） ※受験級に応じて各自購入 電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） ※受験級に応じて各自購入 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニン））</p>
<p>備考</p>	<p>初回のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する 場合がある。 社会人基礎Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため、各学科各学科合同授業となる。ま た、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎III	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、鈴木 裕治	授業回数	37回
		成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「社会人基礎Ⅰ」及び「社会人基礎Ⅱ」で学んだ内容を基礎として、自己の履歴書を作成するとともに、業界研究、業種研究等を行い自分にマッチングした仕事を見つけ、社会人として必要なビジネススキル及び対人能力（協調性、リーダーシップ、傾聴力）を養うことを授業目的とする。また、自分の意見や考えを臆することなく述べることができる様にすることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 職業理解、会社選びのポイント	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治	
第2回	企業へのアクセス 応募書類の準備	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治	

第3回	就職活動におけるスケジュールの管理とトラブル対応 (就職体験報告会)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第4回	一般常識講義 (時事①、SPI適性試験①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第5回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策①) 対人能力向上 (グループディスカッション①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第6回	一般常識講義 (時事②) 社会人マナー (入退室等の作法①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第7回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策②) 対人能力向上 (集団面接①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第8回	一般常識講義 (時事③) 対人能力向上 (集団面接②)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第9回	一般常識講義（SPI・適正検査対策③、作文作成法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第10回	一般常識講義（時事④、SPI適性試験②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第11回	一般常識講義（SPI・適性検査対策④） 対人能力向上（グループディスカッション②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第12回	一般常識講義（時事⑤） 社会人マナー（入退室等の作法②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第13回	一般常識講義（SPI・適性検査対策⑤） 対人能力向上（個人面接①）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第14回	一般常識講義（時事⑥） 対人能力向上（個人面接②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第15回	効果測定（入退室等の作法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第16回	企業研究①（企業情報、事業内容）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第17回	企業研究②（採用情報）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第18回	企業研究③（人事・教育制度、福利厚生）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第19回	企業研究④（同業界での他社との比較）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第20回	企業研究⑤（企業とのマッチング具合を分析する）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第21回	業界研究①（業界の全体像を捉える）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第22回	業界研究②（業界ごとの特徴を理解する）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第23回	業界研究③（業界の成長性・安定性を知る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第24回	職種研究①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第25回	職種研究②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第26回	自己分析①（適性検査）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第27回	自己分析②（趣味、余暇活動を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第28回	自己分析③（ボランティア活動、部活動を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第29回	自己分析④（自己PRの作成）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第30回	履歴書の作成①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第31回	履歴書の作成②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第32回	就職試験対策 ラインズSPI①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第33回	就職試験対策 ラインズSPI②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第34回	就職試験対策 ラインズSPI③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第35回	就職試験対策 ラインズSPI④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第36回	就職試験対策 ラインズSPI⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第37回	就職試験対策 ラインズSPI⑥	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
準備学習等	予習と課題については適宜講義中に指示する。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック（学校法人 大原学園） 就職ノートブック（学校法人 大原学園） 就職模擬試験（実務教育出版）※適性検査で使用 SPI対策テスト Type-B（株式会社 教育企画センター）※適性検査で使用 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング）） ラインズSPI（ラインズ株式会社（e-ラーニング））	

備考	<p>初回のみ3時間講義となる。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。</p> <p>社会人基礎Ⅲは、各学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>また、受講生を複数の教室に分けて講義をするため、科目教員を多く配置している。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義にモノグサおよびラインズSPIを使用する。</p>
----	--

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	適性検査演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	40回
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
	: %		
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	就職試験における適性検査の演習を通して、基礎的な対応力の養成をはかることを目的とする。適性検査については、複数の試験形式や特徴に関する理解とその基本問題における解法手順の習得を目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	適性検査、性格検査の目的と形式について	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第2回	適性検査、性格検査の受験要領	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第3回	適性検査、性格検査の練習方法	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第4回	適性検査の種類（照合）	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第5回	適性検査の種類（分類）	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	

第6回	適性検査の種類（計算）	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第7回	適性検査の種類（置換）	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第8回	適性検査の種類（図形）	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第9回	適性検査の種類（複合）	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第10回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第11回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第12回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第13回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第14回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第15回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第16回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第17回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第18回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第19回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第20回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第21回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第22回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第23回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第24回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第25回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第26回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第27回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第28回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第29回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第30回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第31回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第32回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第33回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第34回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第35回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第36回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第37回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第38回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第39回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第40回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為に、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。	
教科書 参考書等	TEXT適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）、 Monoxer（モノグサ株式会社）、 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	電卓技能	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位	
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐	授業回数	20回	
		成績評価方法	実技試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	電卓技能の基礎を習得することを目的とする。知識や技能の習得のみに留まらず、将来関わるであろう業務の遂行を意識しながら、正確さや迅速さを追求した事務処理能力の向上を目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	電卓の基礎知識とキータッチの練習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐		
第2回	加減算・見取り算練習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐		
第3回	乗算・除算	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐		
第4回	伝票算練習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐		
第5回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐		

第6回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第7回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第8回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第9回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第10回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第11回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第12回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第13回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第14回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第15回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第16回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第17回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第18回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第19回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第20回	検定問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。各自の電卓技能の習熟度に応じた自主的な演習の時間の確保が必要である。	
教科書 参考書等	電卓マスター講座 基本操作レクチャー講義レジュメ（大原出版） 電卓技能検定試験問題集、伝票算問題集（大原出版）※受験級に応じて各自購入 Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎国語Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	蜂谷 志穂、伊藤 江里子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>公務員試験合格に必要な文章理解・国語の基礎項目の習得を図り、基礎レベルの問題を確実に得点することを目的とする。文章理解においては、問題を解く際の基本的な考え方を理解した上で、例題レベルの問題を正しい解き方で正解できることを到達目標とする。国語については、漢字・文法・敬語・ことわざ・四字熟語に関する問題が頻出である。そこで実際に問題を解き、わからない場合は自ら調べてプリントにまとめるなどをして、受験に必要な基本的知識を確実に身につけることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	主旨・要旨把握問題①、漢字（基本レベル）①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第2回	主旨・要旨把握問題②、漢字（基本レベル）②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第3回	主旨・要旨把握問題③、文法・敬語（基本レベル）	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第4回	主旨・要旨把握問題④、四字熟語（基本レベル）①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第5回	内容合致問題、四字熟語（基本レベル）②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第6回	文章整序問題、四字熟語（基本レベル）③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第7回	空欄補充問題、ことわざ・故事成語（基本レベル）①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	

第8回	その他の問題①、ことわざ・故事成語（基本レベル）②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	その他の問題②、ことわざ・故事成語（基本レベル）③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	その他の問題③、ことわざ・故事成語（基本レベル）④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。</p> <p>習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する可能性がある。受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎数的A	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無			
		単位数	2単位
科目教員	高橋航、佐藤弘章	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>各種公務員教養試験で出題される分野である「数的推理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。</p> <p>「数的推理」分野では、問題の形式（パターン）を数多く理解し、解答をパターン化させて精度を上げる分野や、解法が複数存在する分野、自由な発想を必要とする分野がある。したがって、自ら思考し、判断して正答を導き出す力の養成を図る。</p> <p>最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/数と文字式の計算	高橋航 佐藤弘章	
第2回	方程式・不等式(1)	高橋航 佐藤弘章	
第3回	方程式・不等式(2)	高橋航 佐藤弘章	
第4回	整数・計算パズル(1)	高橋航 佐藤弘章	
第5回	整数・計算パズル(2)	高橋航 佐藤弘章	
第6回	整数・計算パズル(3)	高橋航 佐藤弘章	
第7回	割合と比(1)	高橋航 佐藤弘章	

第8回	割合と比(2)	高橋航 佐藤弘章
第9回	割合と比(3)	高橋航 佐藤弘章
第10回	割合と比(4)	高橋航 佐藤弘章
第11回	割合と比(5)	高橋航 佐藤弘章
第12回	速さ(1)	高橋航 佐藤弘章
第13回	速さ(2)	高橋航 佐藤弘章
第14回	速さ(3)	高橋航 佐藤弘章
第15回	速さ(4)	高橋航 佐藤弘章
第16回	その他の文章題(1)	高橋航 佐藤弘章
第17回	その他の文章題(2)	高橋航 佐藤弘章
第18回	その他の文章題(3)	高橋航 佐藤弘章
第19回	場合の数・確率(1)	高橋航 佐藤弘章
第20回	場合の数・確率(2)	高橋航 佐藤弘章
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。 	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	社会科学 A	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	尾形幸祐、佐藤弘章	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的 到達目標	<p>本講義では政治の基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である国会・内閣、裁判所を中心に学習を進める。</p> <p>最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/政治の基本概念	尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	政治制度論	尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	政治過程論	尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴/基本的人権総論	尾形幸祐 佐藤弘章	
第5回	精神的自由権/経済的自由権/人身の自由/社会権	尾形幸祐 佐藤弘章	
第6回	能動的権利・受益権	尾形幸祐 佐藤弘章	
第7回	国会の機構と運営	尾形幸祐 佐藤弘章	

第8回	内閣の機構と運営	尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	裁判所の機構と運営	尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	地方自治	尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト政治(大原出版)、模擬試験(大原出版)、Monoxer(モノグサ株式会社)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	総合演習 A	授業形態	
		演習	選必
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	30回
科目教員	高橋航、蜂谷志穂、尾形幸祐、 佐藤弘章	成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	基礎授業期で学習した内容の定着を図るために総合問題演習を行う。公務員試験における教養試験の合格基準を超える学力を養うことを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	総合問題演習		高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第2回	総合問題演習		高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第3回	総合問題演習		高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第4回	総合問題演習		高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章

第5回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第6回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第7回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第8回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第11回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第12回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第13回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第14回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章

第15回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第16回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第17回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第18回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第19回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第20回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第21回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第22回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第23回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第24回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章

第25回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第26回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第27回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第28回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第29回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
第30回	総合問題演習	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	知識の定着には反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。学生には各回の問題演習の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理〔問題編〕〔解答編〕、テキスト政治、テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書 Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	文書処理技能Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
科目教員	大庄司 文子	授業回数	13回
		成績評価方法	実技試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	大庄司 文子	: %	: %
		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁における処理システム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。		
実務経験教員の 実務経験内容	企業にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。		
授業目的 到達目標	社会人として必要なパソコンでの文書作成能力を養成することを目的とする。文書作成能力の養成においては知識や技能を習得するだけではなく将来関わるであろう業務の遂行を意識しながら、正確さや迅速さを追求した事務処理能力の向上を目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/文書作成ソフト（文字書式・拡張書式・段落書式）	大庄司 文子	
第2回	文書作成ソフト（タブとリーダー・段組み・箇条書き）	大庄司 文子	
第3回	文書作成ソフト（段落番号・ドロップキャップ・スタイル）	大庄司 文子	
第4回	文書作成ソフト（ページ設定と印刷設定）	大庄司 文子	
第5回	文書作成ソフト（テキスト編集・ヘッダーとフッター）	大庄司 文子	
第6回	文書作成ソフト（表のデザインとレイアウト）	大庄司 文子	
第7回	文書作成ソフト（オブジェクトの作成・図と図形の書式）	大庄司 文子	

第8回	文書作成ソフト（配置と整列）	大庄司 文子
第9回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第10回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第11回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第12回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第13回	文書作成練習問題	大庄司 文子
準備学習等	基本的に予習は不要。各自の文書処理技能の習熟度に応じた自主的な演習の時間の確保が必要である。	
教科書 参考書等	サーティファイWord文書処理技能認定試験問題集（サーティファイ） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科		公務員学科（2年課程）	
学年		1 学年	
科目名	コミュニケーション能力基礎	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	25回
科目教員	高橋航、蜂谷志穂、尾形幸祐	成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>社会人として必要なコミュニケーション能力の育成を目的とする。様々な視点から自己分析を行い、自己理解を深めることで豊かな自己表現力を養成する。</p> <p>また、社会問題（時事）研究と職種研究を並行して行い、自己分析とオーバーラップさせながら様々な面接試験に幅広く対応できることを目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/自己分析の要領 自己分析シート作成①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第2回	自己分析シート作成②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第3回	自己分析シート作成③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第4回	自己分析シート作成④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第5回	自己分析シート作成⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	

第6回	自己分析シート作成⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第7回	面接想定シート作成①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第8回	面接想定シート作成②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第9回	面接想定シート作成③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第10回	面接想定シート作成④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第11回	職種研究①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第12回	職種研究②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第13回	職種研究③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第14回	職種研究④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第15回	職種研究⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第16回	社会問題(時事)研究①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第17回	社会問題(時事)研究②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第18回	社会問題(時事)研究③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第19回	体力試験対策①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第20回	体力試験対策②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第21回	体力試験対策③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第22回	模擬面接(個人面接)	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第23回	模擬面接(集団討論)	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第24回	印象アップセミナー	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第25回	スーツセミナー・メイクセミナー	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。各授業内で課題を課すことがある。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科		公務員学科（2年課程）	
学年		1 学年	
科目名	コミュニケーション能力 A	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	75回
科目教員	高橋航、蜂谷志穂、尾形幸祐	成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>社会人として必要なコミュニケーション能力の育成を目的とする。様々な視点から自己分析を行い、自己理解を深めることで豊かな自己表現力を養成する。</p> <p>また、社会問題（時事）研究と職種研究を並行して行い、自己分析とオーバーラップさせながら様々な面接試験に幅広く対応できることを目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/自己分析の要領・自己分析シート作成①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第2回	自己分析シート作成②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第3回	自己分析シート作成③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第4回	自己分析シート作成④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	
第5回	自己分析シート作成⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐	

第6回	自己分析シート作成⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第7回	面接想定シート作成①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第8回	面接想定シート作成②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第9回	面接想定シート作成③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第10回	面接想定シート作成④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第11回	面接想定シート作成⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第12回	職種研究①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第13回	職種研究②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第14回	職種研究③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第15回	職種研究④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第16回	職種研究⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第17回	社会問題（時事）研究①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第18回	社会問題（時事）研究②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第19回	社会問題（時事）研究③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第20回	社会問題（時事）研究④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第21回	社会問題（時事）研究⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第22回	模擬面接（個人面接）①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第23回	模擬面接（個人面接）②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第24回	模擬面接（個人面接）③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第25回	模擬面接（個人面接）④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第26回	模擬面接（個人面接）⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第27回	体力試験対策①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第28回	体力試験対策②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第29回	体力試験対策③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第30回	体力試験対策④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第31回	校外研修事前準備	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第32回	校外研修	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第33回	校外研修	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第34回	校外研修	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第35回	職種研究⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第36回	職種研究⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第37回	職種研究⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第38回	職種研究⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第39回	職種研究⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第40回	面接想定シート作成⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第41回	面接想定シート作成⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第42回	面接想定シート作成⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第43回	面接想定シート作成⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第44回	面接想定シート作成⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第45回	模擬面接（個人面接）⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第46回	模擬面接（個人面接）⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第47回	模擬面接（個人面接）⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第48回	模擬面接（個人面接）⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第49回	模擬面接（個人面接）⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第50回	模擬面接（個人面接）⑪	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第51回	模擬面接（個人面接）⑫	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第52回	模擬面接（個人面接）⑬	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第53回	模擬面接（個人面接）⑭	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第54回	模擬面接（個人面接）⑮	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第55回	模擬面接（個人面接）⑯	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第56回	模擬面接（個人面接）⑰	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第57回	模擬面接（個人面接）⑱	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第58回	模擬面接（個人面接）⑱	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第59回	模擬面接（個人面接）⑳	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第60回	模擬面接（集團討論）①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第61回	模擬面接（集團討論）②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第62回	模擬面接（集團討論）③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第63回	模擬面接（集團討論）④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第64回	模擬面接（集團討論）⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第65回	模擬面接（集團討論）⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第66回	模擬面接（集團討論）⑦	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第67回	模擬面接（集團討論）⑧	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第68回	模擬面接（集團討論）⑨	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第69回	模擬面接（集團討論）⑩	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第70回	体力試験対策①	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐

第71回	体力試験対策②	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第72回	体力試験対策③	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第73回	体力試験対策④	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第74回	体力試験対策⑤	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
第75回	体力試験対策⑥	高橋航 蜂谷志穂 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。各授業内で課題を課すことがある。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	適性検査演習Ⅲ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	40回
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			平常点 : 50 %
	: %		
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	適性検査演習Ⅰで身に付けた適性検査の基礎的な知識・技能を生かし、さらなる応用力の養成を図る。適性検査の複数の試験形式や特徴に関するさらなる理解とその発展問題における習熟度の向上を目的とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第2回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第3回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第4回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第5回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	

第6回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第7回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第8回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第9回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第10回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第11回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第12回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第13回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第14回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第15回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第16回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第17回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第18回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第19回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第20回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第21回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第22回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第23回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第24回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第25回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第26回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第27回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第28回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第29回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第30回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第31回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第32回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第33回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第34回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第35回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第36回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第37回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第38回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第39回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第40回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為に、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。	
教科書 参考書等	T E X T 適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）、 Monoxer（モノグサ株式会社） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎国語Ⅱ	授業形態	
		選必の別	講義
実務経験のある教員による科目の有無			
		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	蜂谷 志穂、伊藤 江里子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>公務員試験の受験に必要な文章理解、国語の基本的問題を確実に得点できる能力の習得を目的とする。文章理解においては、基礎国語Ⅰで習得した、「問題を解く際の正しい考え方」を前提に、様々なパターンの問題を解き、パターン別の解き方のコツを掴み、受験時における基礎レベルの問題を確実に得点できるようにすることを到達目標とする。また、国語の分野で出題される漢字・文法・敬語・ことわざ・四字熟語などについては、実際に問題を解き、わからない場合は自ら調べてプリントにまとめるなどをして、基礎国語Ⅰで学んだ以上の知識を身につけることを到達目標とする。さらにこの科目では、公務員試験で実施される作文試験の対策も行う。授業では、採点のポイント、原稿用紙の使い方、表現における注意点、作文構成の方法などの基本事項を理解させ、作文作成の下地作りを目的とする。それを踏まえて作文試験における各採点基準の最低基準をクリアした作文を作成できるようになることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題(練習問題)①、漢字(標準レベル)①		蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第2回	主旨・要旨把握問題(練習問題)②、漢字(標準レベル)②		蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第3回	内容合致問題(練習問題)、四字熟語(標準レベル)①		蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第4回	文章整序問題(練習問題)、四字熟語(標準レベル)②		蜂谷 志穂 伊藤 江里子

第5回	空欄補充問題(練習問題)、ことわざ・故事成語(標準レベル)①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第6回	その他の問題(練習問題)、ことわざ・故事成語(標準レベル)②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第7回	作文入門、作文構想立案①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第8回	作文作成	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	作文構想立案②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	作文作成	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer(モノグサ株式会社)	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。</p> <p>習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する可能性がある。</p> <p>受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎数的B	授業形態	
		選必の別	講義
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	高橋航、佐藤弘章	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	<p>各種公務員教養試験で出題される分野である「判断推理・課題処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。</p> <p>「判断推理・課題処理」分野では、様々な条件を書き上げたり、合成したり、性質ごとに分けたりといった作業を効率的に行う能力と論理的思考力の向上を図る。また、問題の内容をしっかりと把握するといった読解力の養成も重要である。</p> <p>問題演習（基礎編）では、各分野の既習事項の定着を図るために、一般教養力検定の模擬試験等を実施する。</p> <p>最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス/論理	高橋航 佐藤弘章	
第2回	集合の要素(1)	高橋航 佐藤弘章	
第3回	集合の要素(2)	高橋航 佐藤弘章	
第4回	集合の要素(3)	高橋航 佐藤弘章	
第5回	順序(1)	高橋航 佐藤弘章	
第6回	順序(2)	高橋航 佐藤弘章	

第7回	順序(3)	高橋航 佐藤弘章
第8回	位置・方位(1)	高橋航 佐藤弘章
第9回	位置・方位(2)	高橋航 佐藤弘章
第10回	対応(1)	高橋航 佐藤弘章
第11回	対応(2)	高橋航 佐藤弘章
第12回	対応(3)	高橋航 佐藤弘章
第13回	勝敗(1)	高橋航 佐藤弘章
第14回	勝敗(2)	高橋航 佐藤弘章
第15回	うそつき(1)	高橋航 佐藤弘章
第16回	うそつき(2)	高橋航 佐藤弘章
第17回	暗号(1)	高橋航 佐藤弘章
第18回	暗号(2)	高橋航 佐藤弘章
第19回	推理・手順(1)	高橋航 佐藤弘章
第20回	推理・手順(2)	高橋航 佐藤弘章
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	判断推理・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験(大原出版)、Monoxer(モノグサ株式会社)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎数的C	授業形態		
		選必の別	講義	
実務経験のある教員による科目の有無				
		単位数	2単位	
科目教員	高橋航、佐藤弘章	授業回数		
		20回		
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	<p>各種公務員教養試験で出題される分野である「図形・資料解釈」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成する。</p> <p>「図形・資料解釈」分野においては、公式の理解に留まらず、正多面体の性質や平面図形の回転の軌跡、立体の切断面など、空間把握・表象能力の養成を図る。</p> <p>最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。</p>			
授業計画				
回数	授業内容		科目教員	
第1回	平面図形の計量(1)		高橋航 佐藤弘章	
第2回	平面図形の計量(2)		高橋航 佐藤弘章	
第3回	平面図形の計量(3)		高橋航 佐藤弘章	
第4回	平面図形の計量(4)		高橋航 佐藤弘章	
第5回	平面図形の計量(5)		高橋航 佐藤弘章	
第6回	平面図形の計量(6)		高橋航 佐藤弘章	
第7回	立体図形の計量(1)		高橋航 佐藤弘章	

第8回	立体図形の計量(2)	高橋航 佐藤弘章
第9回	回転と軌跡(1)	高橋航 佐藤弘章
第10回	回転と軌跡(2)	高橋航 佐藤弘章
第11回	道順・一筆書き・位相	高橋航 佐藤弘章
第12回	平面構成(1)	高橋航 佐藤弘章
第13回	平面構成(2)	高橋航 佐藤弘章
第14回	正多面体・展開図(1)	高橋航 佐藤弘章
第15回	正多面体・展開図(2)	高橋航 佐藤弘章
第16回	立体構成(1)	高橋航 佐藤弘章
第17回	立体構成(2)	高橋航 佐藤弘章
第18回	資料解釈(1)	高橋航 佐藤弘章
第19回	資料解釈(2)	高橋航 佐藤弘章
第20回	資料解釈(3)	高橋航 佐藤弘章
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	図形・空間把握〔問題編〕〔解答編〕 Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会科学B	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	尾形幸祐、佐藤弘章	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的 到達目標	<p>社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会である。本講義では経済・社会では基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	経済社会の変容と体制	尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	現代の企業と市場	尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	国民所得と国民所得計算	尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	経済の成長と景気循環	尾形幸祐 佐藤弘章	
第5回	通貨制度と金融政策	尾形幸祐 佐藤弘章	
第6回	財政制度と財政政策	尾形幸祐 佐藤弘章	

第7回	日本経済の動向	尾形幸祐 佐藤弘章
第8回	世界経済の動向	尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	大衆社会と日本文化論	尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	防衛機制と青年期	尾形幸祐 佐藤弘章
第11回	労働三法と労働法規	尾形幸祐 佐藤弘章
第12回	日本の社会保障制度	尾形幸祐 佐藤弘章
第13回	基本的人権（自由権・社会権・受益権等）	尾形幸祐 佐藤弘章
第14回	国会・内閣・裁判所の機構と運営	尾形幸祐 佐藤弘章
第15回	地方自治	尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト 政治（大原出版） 経済（大原出版） 社会（大原出版） 模擬試験（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会科学D	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	尾形幸祐、佐藤弘章	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>本講義では経済・社会の基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。</p> <p>最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	経済社会の変容と体制	尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	現代の企業と市場	尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	国民所得と国民所得計算	尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	経済の成長と景気循環	尾形幸祐 佐藤弘章	
第5回	通貨制度と金融政策	尾形幸祐 佐藤弘章	
第6回	財政制度と財政政策	尾形幸祐 佐藤弘章	
第7回	日本経済の動向	尾形幸祐 佐藤弘章	

第8回	世界経済の動向	尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	大衆社会と日本文化論	尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	防衛機制と青年期	尾形幸祐 佐藤弘章
第11回	社会理論	尾形幸祐 佐藤弘章
第12回	労働問題	尾形幸祐 佐藤弘章
第13回	社会保障	尾形幸祐 佐藤弘章
第14回	環境問題	尾形幸祐 佐藤弘章
第15回	国際関係	尾形幸祐 佐藤弘章
第16回	政治制度論/政治過程論	尾形幸祐 佐藤弘章
第17回	大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴／基本的人権総論	尾形幸祐 佐藤弘章
第18回	基本的人権（自由権・社会権・受益権等）	尾形幸祐 佐藤弘章
第19回	国会・内閣・裁判所の機構と運営	尾形幸祐 佐藤弘章
第20回	地方自治	尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト経済（大原出版）、社会（大原出版）、模擬試験（大原出版）、 Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会科学E	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	尾形幸祐、佐藤弘章	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>本講義では経済では基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。</p> <p>最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	経済社会の変容と体制	尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	現代の企業と市場	尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	国民所得と国民所得計算	尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	経済の成長と景気循環	尾形幸祐 佐藤弘章	
第5回	通貨制度と金融政策	尾形幸祐 佐藤弘章	
第6回	財政制度と財政政策	尾形幸祐 佐藤弘章	
第7回	日本経済の動向	尾形幸祐 佐藤弘章	

第8回	世界経済の動向	尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	大衆社会と日本文化論	尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	防衛機制と青年期	尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト経済(大原出版)、模擬試験(大原出版) Monoxer(モノグサ株式会社)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会科学F	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	尾形幸祐、佐藤弘章	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容		: %	
実務経験教員の実務経験内容		: %	
授業目的 到達目標	<p>社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会である。本講義では社会では基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。</p> <p>最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	社会理論	尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	労働問題	尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	社会問題	尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	環境問題	尾形幸祐 佐藤弘章	
第5回	国際関係	尾形幸祐 佐藤弘章	
第6回	財政治制度論／政治過程論	尾形幸祐 佐藤弘章	
第7回	大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴／基本的人権総論	尾形幸祐 佐藤弘章	

第8回	基本的人権（自由権・社会権・受益権等）	尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	国会・内閣・裁判所の機構と運営	尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	地方自治	尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト社会（大原出版）、模擬試験（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・ 状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・ 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	総合演習B	授業形態	
		演習	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐、 佐藤弘章	授業回数	30回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	基礎授業期で学習した内容の定着を図るために総合問題演習を行う。公務員試験における教養試験の合格基準を超える学力を養うことを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章	

第5回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第6回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第7回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第8回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第11回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第12回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第13回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第14回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第15回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第16回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第17回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第18回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第19回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第20回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第21回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第22回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第23回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第24回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第25回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第26回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第27回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第28回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第29回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第30回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の問題演習の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、テキスト政治・経済・社会、テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書 Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	総合演習J	授業形態	
		演習	選必
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	5単位
		授業回数	50回
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐、 佐藤弘章	成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	基礎授業期で学習した内容の定着を図るために総合問題演習を行う。公務員試験における教養試験の合格基準を超える学力を養うことを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	総合問題演習		蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第2回	総合問題演習		蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第3回	総合問題演習		蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第4回	総合問題演習		蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第5回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第6回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第7回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第8回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第11回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第12回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第13回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第14回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第15回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第16回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第17回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第18回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第19回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第20回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第21回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第22回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第23回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第24回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第25回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第26回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第27回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第28回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第29回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第30回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第31回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第32回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第33回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第34回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第35回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第36回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第37回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第38回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第39回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第40回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第41回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第42回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第43回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第44回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章

第45回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第46回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第47回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第48回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第49回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
第50回	総合問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の問題演習の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理・資料解釈／図形〔問題編〕〔解答編〕、テキスト政治・経済・社会、テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書 Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	時事試験対策	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		10回	
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐	成績 評価 方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
			%		
			%		
			%		
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>ニュースを読み解き、活用する力を養うことを目的とする。 現在社会のできごとを多角的・公正に理解・判断し、課題を解決していく礎となる総合的な力を養い、最終的に「ニュース検定」に合格することを目標とする。</p>				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	政治に関する時事①				蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第2回	政治に関する時事②				蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第3回	経済に関する時事①				蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第4回	経済に関する時事②				蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第5回	暮らしに関する時事①				蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第6回	暮らしに関する時事②	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第7回	社会・環境に関する時事①	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第8回	社会・環境に関する時事②	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第9回	国際関係に関する時事①	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第10回	国際関係に関する時事②	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
準備学習等	予習の必要はないが、積極的に新聞やオンラインニュースから情報収集してほしい。	
教科書 参考書等	ニュース検定【公式テキスト・問題集】（毎日新聞社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	応用国語演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	蜂谷 志穂、伊藤 江里子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>基礎国語Ⅰおよび基礎国語Ⅱにて身につけた基礎力をベースに、公務員試験において合格者の大半が得点するであろう標準レベルの問題に取り組んでもらい、確実に得点できるような能力の習得を目的とする。文章理解においては、標準レベルの問題となるとさらに多くのテクニックが必要となってくる。したがって、様々な問題に取り組む中でそれを学び、使いこなせるようにし、標準レベルの問題を確実に解けるようにすることを到達目標とする。国語においては、漢字・文法・敬語・四字熟語・ことわざ・故事成語の問題に対応するための知識の定着を目的とする。テキストで重要項目を理解した上で問題を解き、応用的知識を確実に習得できるようにすることを到達目標とする。さらに、基礎国語Ⅱに引き続き作文対策も行う。様々なテーマに対応できるようにするために、テーマごとに何をどういう順番で書くかを考える能力を習得させることを目的とする。各採点基準をすべてクリアできるような答案を書けるようになることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	主旨・要旨把握問題(標準レベル) ①、漢字 (応用レベル) ①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第2回	主旨・要旨把握問題(標準レベル) ②、漢字 (応用レベル) ②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第3回	内容合致問題(標準レベル) ①、四字熟語 (応用レベル) ①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第4回	内容合致問題(標準レベル) ②、四字熟語 (応用レベル) ②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子	

第5回	文章整序問題(標準レベル)、四字熟語(応用レベル)③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第6回	空欄補充問題(標準レベル)、ことわざ・故事成語(応用レベル)①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第7回	その他の問題(標準レベル)①、ことわざ・故事成語(応用レベル)②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第8回	その他の問題(標準レベル)②、ことわざ・故事成語(応用レベル)③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	作文構想立案	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	作文作成	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	スタンダード問題集文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer(モノグサ株式会社)	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。</p> <p>習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する可能性がある。</p> <p>受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	応用数的演習 A	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	38回
科目教員	高橋航、佐藤弘章	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>各種公務員教養試験で出題される分野である「数的処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。</p> <p>過去問演習（応用編）では、「数的推理」「判断推理・課題処理」「平面図形・空間把握」「資料解釈」（以下、全範囲という。）の各分野から実際に公務員試験に出題された基礎的な問題の解答を導き出す力を養成する。</p> <p>過去問演習（発展編）では、公務員試験に出題された標準的な難易度の問題を扱い、より柔軟な応用力を養成する。</p> <p>過去問演習（完成編）では、本試験の出題傾向を分析し、基礎的な事項の習得が確認できる問題や本試験と同レベルの問題を厳選して収録したスタンダード問題集を用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。</p> <p>他分野と比較してこれまで問題演習が少なかった「資料解釈」分野については、上記過去問演習を通して、多種多様な統計資料についての分析力の完成を目指す。</p> <p>最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。</p>		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	数的処理過去問演習 （応用編）		高橋航 佐藤弘章
第2回	数的処理過去問演習 （応用編）		高橋航 佐藤弘章
第3回	数的処理過去問演習 （応用編）		高橋航 佐藤弘章
第4回	数的処理過去問演習 （応用編）		高橋航 佐藤弘章

第5回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第6回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第7回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第8回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第9回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第10回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第11回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第12回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第13回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第14回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第15回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第16回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第17回	数の処理過去問演習 (応用編)	高橋航 佐藤弘章
第18回	数の処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第19回	数の処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第20回	数の処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第21回	数の処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第22回	数の処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章

第23回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第24回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第25回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第26回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第27回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第28回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第29回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第30回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第31回	数的処理過去問演習 (発展編)	高橋航 佐藤弘章
第32回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
第33回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
第34回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
第35回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
第36回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
第37回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
第38回	数的処理過去問演習 (完成編)	高橋航 佐藤弘章
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理・資料解釈／図形・空間把握〔問題編〕〔解答編〕、補助プリント	

備考	<ul style="list-style-type: none">・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。・映像配信授業等を行う場合がある。
----	---

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	社会科学演習 A	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	15回
科目教員	尾形幸祐、佐藤弘章	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	政治・経済・社会の各分野において問題演習を行い、実際の公務員試験で正答を導き出せるよう知識を定着させ、公務員試験合格を目的として学習を進める。最終的には公務員試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することが目標である。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	過去問演習 (政治の基本概念)	尾形幸祐 佐藤弘章	
第2回	過去問演習 (幸福追求権)	尾形幸祐 佐藤弘章	
第3回	過去問演習 (自由権・社会権)	尾形幸祐 佐藤弘章	
第4回	過去問演習 (能動的権利・受益権)	尾形幸祐 佐藤弘章	
第5回	過去問演習 (国会・内閣・裁判所)	尾形幸祐 佐藤弘章	
第6回	過去問演習 (地方自治)	尾形幸祐 佐藤弘章	
第7回	過去問演習 (経済社会のしくみ)	尾形幸祐 佐藤弘章	

第8回	過去問演習（企業の形態・市場メカニズム）	尾形幸祐 佐藤弘章
第9回	過去問演習（国民所得と国富）	尾形幸祐 佐藤弘章
第10回	過去問演習（インフレーションとデフレーション）	尾形幸祐 佐藤弘章
第11回	過去問演習（金融制度・財政制度）	尾形幸祐 佐藤弘章
第12回	過去問演習（日本経済・国際経済の動向）	尾形幸祐 佐藤弘章
第13回	過去問演習（労働法規と労働問題）	尾形幸祐 佐藤弘章
第14回	過去問演習（日本の社会保障制度）	尾形幸祐 佐藤弘章
第15回	過去問演習（国際連盟・国際連合）	尾形幸祐 佐藤弘章
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト政治・経済・社会（大原出版）、 スタンダード問題集社会科学（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	人文科学 A	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	蜂谷志穂、上之郷奈穂	授業回数	25回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容		: %	
実務経験教員の実務経験内容		: %	
授業目的到達目標	一般教養としての歴史（日本史・世界史）についての知識を習得することを目的とする。公務員試験における教養試験にも出題される科目の為、ウィークリーチェックで日々の習熟度を確認し、最終的には公務員試験レベルの問題を解けるようになることを到達目標として学習をすすめる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	【日本史】 ガイダンス、 古代 原始 先土器・縄文・弥生時代	蜂谷志穂 上之郷奈穂	
第2回	【日本史】 古代 大和政権・聖徳太子・大化の改新	蜂谷志穂 上之郷奈穂	
第3回	【日本史】 古代 律令制度・班田収授法・租庸調・初期荘園	蜂谷志穂 上之郷奈穂	
第4回	【日本史】 古代 律令政治の再建・摂関政治・荘園の発達・武士団の形成	蜂谷志穂 上之郷奈穂	
第5回	【日本史】 古代 院政・平氏政権	蜂谷志穂 上之郷奈穂	
第6回	【日本史】 中世 源平の争乱・鎌倉幕府の成立・執権政治	蜂谷志穂 上之郷奈穂	
第7回	【日本史】 中世 元寇・鎌倉幕府の衰退・鎌倉新仏教・室町幕府の成立	蜂谷志穂 上之郷奈穂	

第8回	【日本史】 中世 日明貿易	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第9回	【日本史】 中世 応仁の乱・室町幕府の衰退・戦国時代 近世 南蛮貿易・織豊政権・太閤検地	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第10回	【日本史】 近世 江戸幕府の成立・幕藩体制	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第11回	【日本史】 近世 鎖国政策・文治政治・正徳の治	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第12回	【日本史】 近世 享保の改革・田沼政治	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第13回	【日本史】 近世 寛政の改革・大御所時代・天保の改革	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第14回	【日本史】 近代 幕末・明治維新	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第15回	【日本史】 近代 自由民権運動・立憲体制の成立・条約改正	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第16回	【日本史】 近代 日清戦争・日露戦争・韓国併合	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第17回	【日本史】 近代 第一次世界大戦・政党政治の発達・大正デモクラシー ・大正～昭和初期の経済	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第18回	【日本史】 近代 昭和初期の政党政治・満州事変・第二次世界大戦	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第19回	【日本史】 近代～現代 日本の戦後処理・国際社会への復帰・戦後の内閣 ・1960～70年代の日本・日本経済の諸問題	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第20回	【日本史】 文化史 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化 ・国風文化・院政期の文化・鎌倉文化	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第21回	【日本史】 文化史 南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化 ・寛永文化・元禄文化・化政文化	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第22回	【東洋史】 殷・周・春秋戦国・秦・前漢	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第23回	【東洋史】 新・後漢・魏晋南北朝・隋・唐	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第24回	【東洋史】 宋・モンゴル・元・明	蜂谷志穂 上之郷奈穂
第25回	【東洋史】 清	蜂谷志穂 上之郷奈穂

準備学習等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 ・ 各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。
教科書 参考書等	<p>日本史 テキスト・レジュメ・ドリル、世界史 テキスト・レジュメ・ドリル スタンダード問題集人文科学（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・ 状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・ 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	人文科学Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	佐藤茂樹、佐藤弘章	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である地理について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業において更なる知識の習熟を目指す。日本のみならず世界情勢についても理解を深め、最終的には公務員試験一次試験を合格できる知識を身につけることを到達目標としている。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	世界の地形	佐藤茂樹 佐藤弘章	
第2回	平野と海岸の地形	佐藤茂樹 佐藤弘章	
第3回	特殊な地形と海洋	佐藤茂樹 佐藤弘章	
第4回	世界の気候・植生・土壌	佐藤茂樹 佐藤弘章	
第5回	気候区分・ハイサーグラフ・地図の特色と利用	佐藤茂樹 佐藤弘章	
第6回	アジア・ヨーロッパの農牧業	佐藤茂樹 佐藤弘章	
第7回	アメリカの農牧業・世界の漁場	佐藤茂樹 佐藤弘章	

第8回	エネルギー資源と原料資源	佐藤茂樹 佐藤弘章
第9回	世界の工業地域（ヨーロッパ）	佐藤茂樹 佐藤弘章
第10回	世界の工業地域（アメリカ・中国）	佐藤茂樹 佐藤弘章
準備学習等	公務員試験合格のためには重要な科目となっているため、日々の授業や復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	地理 テキスト・ドリル（大原出版）、新詳高等地図（帝国書院） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	適性検査演習Ⅳ	授業形態	
		演習	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	蜂谷志穂、高橋航、尾形幸祐	授業回数	40回
		成績評価方法	レポート : 50 %
			平常点 : 50 %
			: %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	適性検査演習Ⅰで身に付けた適性検査の基礎的な知識・技能を生かし、さらなる応用力の養成を図る。また、社会問題研究により課題の解決法など自ら考察する力の養成を目的とする。適性検査については、適性検査の複数の試験形式や特徴に関するさらなる理解とその発展問題における習熟度の向上を目標とする。また、社会問題研究により時事に関する様々な知識を蓄積させ、その問題の本質について考察し、自らの言葉で表現する力の涵養を目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第2回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第3回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第4回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	
第5回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐	

第6回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第7回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第8回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第9回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第10回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第11回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第12回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第13回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第14回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第15回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第16回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第17回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第18回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第19回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第20回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第21回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第22回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第23回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第24回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第25回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第26回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第27回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第28回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第29回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第30回	社会問題研究・ディスカッション	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第31回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐

第32回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第33回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第34回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第35回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第36回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第37回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第38回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第39回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
第40回	適性検査、性格検査問題演習	蜂谷志穂 高橋航 尾形幸祐
準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為に、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。	
教科書 参考書等	TEXT適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）Monoxer（モノグサ株式会社） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎国語演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	蜂谷志穂、伊藤江里子	成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験の受験科目である論作文の対策を実施する。採点のポイント、原稿用紙の使い方、表現における注意点、構成の方法などの基本事項を理解させることを目的とする。そして様々なテーマにおいて構想シートを作成させ、合格答案を作成できる能力を身に付けることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	論作文入門	蜂谷志穂	
第2回	論作文作成（自身の経験談）	蜂谷志穂	
第3回	論作文作成（人口問題）	蜂谷志穂	
第4回	論作文作成（地域問題）	蜂谷志穂	
第5回	論作文作成（社会福祉）	蜂谷志穂	
第6回	論作文作成（教育問題）	蜂谷志穂	
第7回	論作文作成（経済問題）	蜂谷志穂	

第8回	論作文作成（環境問題）	蜂谷志穂
第9回	論作文作成（労働問題）	蜂谷志穂
第10回	論作文作成（ビジネス問題）	蜂谷志穂
準備学習等	論作文の学習は日々の積み重ねが大切である。うまく書けなかったテーマを中心に復習をしっかりと行い、改善点が不明な場合は教員に質問をして解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト論作文対策（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	基礎数的演習		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	25回
科目教員	佐々木勝志		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>公務員試験(教養試験)の出題分野である数的処理（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握、資料解釈）について、上級試験レベルの問題を解答する力を養うことを目的とする。</p> <p>本試験の出題傾向を分析し、演習問題を厳選したテキストを用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。具体的には、国家一般職大卒程度、国税専門官、裁判所一般職大卒程度、地方上級・中級の各試験において出題された過去問題の演習を行う。</p> <p>最終目標は、国家一般職大卒程度、地方上級、警察官・消防官（上級）試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することである。</p>				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	整数（数的推理）				佐々木勝志
第2回	割合と比（数的推理）				佐々木勝志
第3回	方程式・不等式（数的推理）				佐々木勝志
第4回	速さ（数的推理）				佐々木勝志
第5回	数列（数的推理）				佐々木勝志
第6回	計算パズル（数的推理）				佐々木勝志

第7回	場合の数（数的推理）	佐々木勝志
第8回	確率（数的推理）	佐々木勝志
第9回	資料解釈	佐々木勝志
第10回	論理（判断推理）	佐々木勝志
第11回	集合の要素（判断推理）	佐々木勝志
第12回	順序（判断推理）	佐々木勝志
第13回	位置・方位（判断推理）	佐々木勝志
第14回	対応（判断推理）	佐々木勝志
第15回	勝敗（判断推理）	佐々木勝志
第16回	うそつき（判断推理）	佐々木勝志
第17回	暗号（判断推理）	佐々木勝志
第18回	推理・手順（判断推理）	佐々木勝志
第19回	回転と軌跡（図形）	佐々木勝志
第20回	道順・一筆書き・位相（図形）	佐々木勝志
第21回	平面構成（図形）	佐々木勝志
第22回	正多面体（図形）	佐々木勝志
第23回	展開図（図形）	佐々木勝志
第24回	立体構成（図形）	佐々木勝志

第25回	図形の計量（図形）	佐々木勝志
準備学習等	授業の中で解説ができなかった問題については、各自予習・復習（自学自習）で補う必要がある。	
教科書 参考書等	<p>テキスト 数的処理AⅠ（判断推理）・数的処理AⅡ（図形）・数的処理AⅢ（数的推理・資料解釈）（大原出版）</p> <p>実戦問題集 数的処理AⅠ（判断推理）・数的処理AⅡ（図形）・数的処理AⅢ（数的処理・資料解釈）（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	憲法概論	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	25回
科目教員	青柳 清貴	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	法律系専門科目で最初に学習するのが、憲法である。本講義では法律の完全初心者が、憲法を通じて基本的な法律用語、法理論などを習得し、公務員試験の出題傾向である憲法判例を中心とした問題に対応できる力を養うことを目的とする。また、公務員試験に出題される射程内に入った新判例についても適宜紹介し、知識の幅を広げることに留意する。さらに憲法を学んだあとに学ぶ民法や行政法の授業をスムーズに始められるような法的思考方法を培うことも併せて到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	憲法総説（立憲主義の歴史、憲法の分類、憲法の特質）	青柳 清貴	
第2回	日本国憲法総説（日本の憲法史、日本国憲法と明治憲法の対比）	青柳 清貴	
第3回	法の支配と法治主義、さまざまな国家観	青柳 清貴	
第4回	国民主権（権力性の契機と正当性の契機）、天皇制、平和主義	青柳 清貴	
第5回	人権総論（人権の分類、享有主体、性質、人権保障の形態）	青柳 清貴	
第6回	人権各論①法の下での平等、幸福追求権と新しい人権、思想・良心の自由	青柳 清貴	
第7回	人権各論②信教の自由、学問の自由、表現の自由総論	青柳 清貴	

第8回	人権各論③表現の自由（知る権利、アクセス権、集団行動の自由、検閲）	青柳 清貴
第9回	人権各論④居住・移転の自由、財産権の保障	青柳 清貴
第10回	人権各論⑤人身の自由（適正手続きの保障、被疑者・被告人の権利）	青柳 清貴
第11回	人権各論⑥生存権、教育を受ける権利、労働基本権	青柳 清貴
第12回	人権各論⑦参政権、請願権、裁判を受ける権利	青柳 清貴
第13回	人権各論⑧国家賠償請求権、刑事補償請求権、国民の義務	青柳 清貴
第14回	統治機構総論、三権分立、立法権総論	青柳 清貴
第15回	国会の地位・構成・活動、衆議院の優越	青柳 清貴
第16回	選挙と政党、国会議員の特権、国会・各議院の権能	青柳 清貴
第17回	国政調査権（行使方法と限界）、行政権総論	青柳 清貴
第18回	議院内閣制、独立行政委員会、内閣の組織	青柳 清貴
第19回	内閣総理大臣の地位と権能、内閣の権能と責任	青柳 清貴
第20回	司法権総論、司法権の限界、裁判所の構成と権能	青柳 清貴
第21回	国民審査、最高裁判所と下級裁判所、違憲審査制、裁判の諸原則	青柳 清貴
第22回	司法権の独立、財政総論	青柳 清貴
第23回	財政民主主義、租税法律主義	青柳 清貴
第24回	予算の法的性質、予備費、決算	青柳 清貴
第25回	地方自治総論、地方公共団体の組織・権能、条例と法律の関係、憲法改正	青柳 清貴

準備学習等	短期間で憲法の人権、統治を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト憲法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	憲法演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	青柳 清貴	授業回数	25回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
: %			
科目教員のうち 実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、憲法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。また、適宜国家総合職の問題も扱うことで、昨今の公務員試験の難化傾向に対応できるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	憲法人権正誤問題	青柳 清貴	
第2回	人権五択問題演習①：「日本国憲法総論」	青柳 清貴	
第3回	人権五択問題演習②：「基本的人権の限界」	青柳 清貴	
第4回	人権五択問題演習③：「幸福追求権」「新しい人権」	青柳 清貴	
第5回	人権五択問題演習④：「法の下での平等」	青柳 清貴	
第6回	人権五択問題演習⑤：「思想良心の自由」「信教の自由」「学問の自由」	青柳 清貴	
第7回	人権五択問題演習⑥：「表現の自由」	青柳 清貴	

第8回	人権五択問題演習⑦：「居住・移転の自由」	青柳 清貴
第9回	人権五択問題演習⑧：「職業選択の自由」	青柳 清貴
第10回	人権五択問題演習⑨：「人身の自由」	青柳 清貴
第11回	人権五択問題演習⑩：「財産権の保障」	青柳 清貴
第12回	人権五択問題演習⑪：「社会権」「受益権」	青柳 清貴
第13回	憲法統治正誤問題	青柳 清貴
第14回	統治五択問題演習①：「国会」	青柳 清貴
第15回	統治五択問題演習②：「国会」	青柳 清貴
第16回	統治五択問題演習③：「内閣」	青柳 清貴
第17回	統治五択問題演習④：「内閣」	青柳 清貴
第18回	統治五択問題演習⑤：「裁判所」	青柳 清貴
第19回	統治五択問題演習⑥：「裁判所」	青柳 清貴
第20回	統治五択問題演習⑦：「財政」「予算」	青柳 清貴
第21回	統治五択問題演習⑧：「地方自治」「憲法改正」	青柳 清貴
第22回	人権総合問題演習	青柳 清貴
第23回	統治総合問題演習	青柳 清貴
第24回	応用：総合職問題演習①	青柳 清貴
第25回	応用：総合職問題演習②	青柳 清貴

準備学習等	短期間で憲法の人権、統治を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト憲法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	民法概論		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	3単位
				授業回数	30回
科目教員	青柳 清貴		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>法律系専門科目で公務員試験の合否を握る最大の科目といわれるのが、民法である。1000条を優に超える民法の学習は容易ではないが、方法さえ間違わなければ公務員受験生の強力な武器になりうる。この方法とは問題文を読んで何を問われているかを把握し、必要な情報を抽出し、その関係を視覚的な図に表し、条文を当てはめて考えることである。本講義はこの方法を身につけるための「訓練の場」と位置づけ、常に具体例を挙げつつ授業を行う。その上で、特に教員から指示がなくても自らの力でこの方法を実践できるようにすることを到達目標とする。なお、学習内容が膨大なものとなるため、息切れすることがないよう適宜小テストを実施する予定である。</p>				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	民法総論①（民法とは、静的安全と動的安全の観点、民法の諸原則）			青柳 清貴	
第2回	民法総論②（民法改正の概説、私法と公法、民法の構造）			青柳 清貴	
第3回	民法総論③（一般法と特別法、信義則、権利濫用の法理）			青柳 清貴	
第4回	総則①自然人（民法上のさまざまな能力、制限能力者制度、失踪宣告）			青柳 清貴	
第5回	総則②法人（法人学説、一般法人法、法人の不法行為）			青柳 清貴	
第6回	総則③法律行為（法律要件と法律効果、契約・合同行為・単独行為）			青柳 清貴	

第7回	総則④意思表示（心裡留保、虚偽表示、錯誤、詐欺、強迫）、代理	青柳 清貴
第8回	総則⑤条件と期限、無効と取消	青柳 清貴
第9回	総則⑥時効（時効の効力、時効学説、取得時効と消滅時効、更新と完成猶予）	青柳 清貴
第10回	物権①物権総論（物権法定主義、一物一権主義、物権の分類）	青柳 清貴
第11回	物権②不動産物権変動（登記、背信的悪意者、相続と登記、時効と登記）	青柳 清貴
第12回	物権③動産物権変動（引渡しの形態、即時取得）	青柳 清貴
第13回	物権④占有権と所有権（相隣関係、原始取得、共有）	青柳 清貴
第14回	物権⑤用益物権（地上権と地役権）	青柳 清貴
第15回	債権①債権総論（債権とは、物権との相違点、契約自由の原則）	青柳 清貴
第16回	債権②選択債権、履行の強制、債務不履行（要件と効果）	青柳 清貴
第17回	債権③受領遅滞、債権者代位権	青柳 清貴
第18回	債権④詐害行為取消権	青柳 清貴
第19回	債権⑤債権譲渡、債務引受	青柳 清貴
第20回	債権⑥債権の消滅（弁済、代物弁済、混同、免除、相殺）	青柳 清貴
第21回	債権⑦多数当事者の債権債務関係	青柳 清貴
第22回	債権⑧契約総論（双務契約の性質、危険負担、解除）	青柳 清貴
第23回	債権⑨契約各論（贈与契約、売買契約、賃貸借契約、請負契約）	青柳 清貴
第24回	債権⑩契約各論（委任契約、事務管理、不当利得）	青柳 清貴

第25回	債権⑪不法行為総論（要件と効果、特殊な不法行為、損害賠償の減額調整）	青柳 清貴
第26回	担保物権①担保物権総論（担保物権の通有性と効力）	青柳 清貴
第27回	担保物権②質権、留置権（被担保債権、物上代位） 抵当権（法定地上権）	青柳 清貴
第28回	家族法①親族（親族とは、婚姻、離婚）	青柳 清貴
第29回	家族法②親族（実子関係、養子、親権、相続人）	青柳 清貴
第30回	家族法③相続（相続の承認・放棄、相続分、遺言の種類、遺留分）	青柳 清貴
準備学習等	短期間で民法全体を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのようにいかされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト民法（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	民法演習	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位	
科目教員	青柳 清貴	授業回数	30回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、民法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	総則正誤問題	青柳 清貴		
第2回	総則五択問題演習①失踪宣告、制限能力者制度、法人	青柳 清貴		
第3回	総則五択問題演習②意思表示	青柳 清貴		
第4回	総則五択問題演習③代理	青柳 清貴		
第5回	総則五択問題演習④無効・取消し、時効	青柳 清貴		
第6回	物権正誤問題	青柳 清貴		
第7回	物権五択問題演習①物権総論	青柳 清貴		

第8回	物権五択問題演習②不動産物権変動	青柳 清貴
第9回	物権五択問題演習③動産物権変動	青柳 清貴
第10回	物権五択問題演習④占有権と所有権	青柳 清貴
第11回	物権五択問題演習⑤用益物権	青柳 清貴
第12回	債権五択問題演習①債権総論	青柳 清貴
第13回	債権五択問題演習②選択債権、履行の強制、債務不履行	青柳 清貴
第14回	債権五択問題演習③債権者代位権	青柳 清貴
第15回	債権五択問題演習④詐害行為取消権	青柳 清貴
第16回	債権五択問題演習⑤債権譲渡、債権の消滅	青柳 清貴
第17回	債権五択問題演習⑥多数当事者の債権債務関係	青柳 清貴
第18回	債権五択問題演習⑦贈与契約、売買契約	青柳 清貴
第19回	債権五択問題演習⑧賃貸借契約、請負契約	青柳 清貴
第20回	債権五択問題演習⑨委任契約、事務管理、不当利得	青柳 清貴
第21回	債権五択問題演習⑩不法行為	青柳 清貴
第22回	担保物権五択問題演習①担保物権総論	青柳 清貴
第23回	担保物権五択問題演習②質権、留置権	青柳 清貴
第24回	担保物権五択問題演習③抵当権	青柳 清貴
第25回	家族法五択問題演習①親族	青柳 清貴

第26回	家族法五択問題演習②婚姻、離婚	青柳 清貴
第27回	家族法五択問題演習③実子、養子、親権	青柳 清貴
第28回	家族法五択問題演習④相続	青柳 清貴
第29回	物権、担保物権総合問題	青柳 清貴
第30回	債権、契約総合問題	青柳 清貴
準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト民法、実戦問題集民法Ⅰ、実戦問題集民法Ⅱ（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	行政法概論	授業形態		
		選必の別	講義	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位	
科目教員	青柳 清貴	授業回数	25回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
				: %
科目教員のうち実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	<p>行政職公務員を目指す受験生にとって、本講義で習得する行政法の知識は公務員試験合格に必要なだけでなく、公務員に任官した後も日常的に用いる知識となることから、積極的に知識を吸収する必要がある。本講義では、初学者にとって特にとっつきにくいといわれる難解な行政法の諸概念について具体例を挙げつつ説明し、無味乾燥的な問題文を具体的なイメージとして喚起できるようにすることを目標とする。さらに、公務員試験の出題の射程内に入った新判例を随時紹介し、知識をアップデートすることにも注力する。</p>			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	行政法総論①行政法とは、行政法の法源、私法関係と公法	青柳 清貴		
第2回	行政法総論②法治主義、行政主体とは、法律の留保に関する学説	青柳 清貴		
第3回	行政立法（法規命令と行政規則）	青柳 清貴		
第4回	行政行為①行政行為の意義、種類、効力	青柳 清貴		
第5回	行政行為②行政行為の瑕疵、自由裁量と羈束裁量	青柳 清貴		
第6回	行政行為③行政行為の取消しと撤回、行政行為の附款	青柳 清貴		
第7回	行政上の強制措置①直接強制、執行罰、行政代執行、強制徴収	青柳 清貴		

第8回	行政上の強制措置②即時強制、行政罰その他の制裁	青柳 清貴
第9回	行政指導、行政計画、行政契約、行政調査	青柳 清貴
第10回	行政手続法①申請に対する処分、不利益処分	青柳 清貴
第11回	行政手続法②届出、意見公募、行政指導に関する規定	青柳 清貴
第12回	情報公開法（開示請求、開示決定・不開示決定、インカメラ審査）	青柳 清貴
第13回	行政救済法総論（行政救済の仕組み）	青柳 清貴
第14回	国家賠償法①総論、1条責任	青柳 清貴
第15回	国家賠償法②2条責任、最終的賠償責任者、相互保証主義	青柳 清貴
第16回	損失補償、損失補償と国家賠償の関係	青柳 清貴
第17回	国家賠償法、損失補償に関する諸判例	青柳 清貴
第18回	行政不服審査法①不服申立ての種類、手続概論	青柳 清貴
第19回	行政不服審査法②不服申立ての要件、当事者能力、当事者適格	青柳 清貴
第20回	行政不服審査法③審査請求の手続と裁決、執行停止	青柳 清貴
第21回	行政事件訴訟法①総論（処分性、原告適格、訴えの利益、出訴機関）	青柳 清貴
第22回	行政事件訴訟法②取消訴訟の原告適格、訴えの利益	青柳 清貴
第23回	行政事件訴訟法③無効等確認訴訟	青柳 清貴
第24回	行政事件訴訟法④不作為の違法確認訴訟、義務付け訴訟、差止訴訟、客観訴訟	青柳 清貴
第25回	行政法総まとめ	青柳 清貴

準備学習等	行政法の世界では日常生活では使わない用語が多数登場する。そのため、問題文中の専門的な用語を目の当たりにしても即時にその意味が想起できるようになるまで、テキストや授業ノートを反復して確認し、これらの知識を「当たり前の知識」として定着させることに意識的に取り組んでほしい。また、習得した知識が問題を解く上でどのようにいかされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト行政法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	行政法演習		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	25回
科目教員	青柳 清貴		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、行政法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	行政法総論正誤問題			青柳 清貴	
第2回	行政法総論五択問題演習①：行政法総論			青柳 清貴	
第3回	行政法総論五択問題演習②：行政立法			青柳 清貴	
第4回	行政法総論五択問題演習③：行政行為			青柳 清貴	
第5回	行政法総論五択問題演習④：行政上の強制措置			青柳 清貴	
第6回	行政法総論五択問題演習⑤：「行政指導」「行政契約」			青柳 清貴	
第7回	行政法総論五択問題演習⑥：「行政計画」「行政調査」			青柳 清貴	

第8回	行政手続法正誤問題	青柳 清貴
第9回	行政手続法五択問題演習	青柳 清貴
第10回	情報公開法五択問題演習	青柳 清貴
第11回	行政救済法正誤問題①行政救済法総論	青柳 清貴
第12回	行政救済法正誤問題②国家賠償、損失補償	青柳 清貴
第13回	行政救済法五択問題演習①：国家賠償法	青柳 清貴
第14回	行政救済法五択問題演習②：損失補償	青柳 清貴
第15回	行政不服審査法正誤問題	青柳 清貴
第16回	行政不服審査法五択問題演習①	青柳 清貴
第17回	行政不服審査法五択問題演習②	青柳 清貴
第18回	行政不服審査法五択問題演習③	青柳 清貴
第19回	行政事件訴訟法正誤問題	青柳 清貴
第20回	行政事件訴訟法五択問題演習①	青柳 清貴
第21回	行政事件訴訟法五択問題演習②	青柳 清貴
第22回	行政事件訴訟法五択問題演習③	青柳 清貴
第23回	行政事件訴訟法五択問題演習④	青柳 清貴
第24回	行政法総論総合問題	青柳 清貴
第25回	行政救済法総合問題	青柳 清貴

準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。
教科書 参考書等	テキスト行政法、実戦問題集行政法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	青柳 清貴	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	国家一般職試験、国税専門官試験、一部の地方上級職試験で出題される社会学を短期間で習得することを目的とする。公務員試験で出題される社会学は、知識を正確に記憶していれば正答を導き出せる問題がほとんどである。このことから、いかに短期間で、いかに効率よく、いかに強固に記憶を定着させるかが重要となる。本講義では社会学の著名な学者やその研究内容、実績の説明が中心となるが、これらの知識の記憶方法も併せて紹介する予定である。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	社会学概論（社会学とは、社会とは、社会学の発展史）	青柳 清貴	
第2回	総合社会学（コント、スペンサー）	青柳 清貴	
第3回	社会学主義（デュルケーム、方法論的集団主義、自殺論）	青柳 清貴	
第4回	理解社会学（ウェーバー、方法論的個人主義、価値自由）	青柳 清貴	
第5回	形式社会学（ジンメル、方法論的關係主義、心的相互作用）	青柳 清貴	
第6回	機能主義的 sociology（パーソンズ、マートン、構造と機能論）	青柳 清貴	
第7回	ミクロ社会学、マルクスの社会学（史的唯物論）	青柳 清貴	

第8回	パーソナリティ論、社会的性格	青柳 清貴
第9回	文化論、地位と役割	青柳 清貴
第10回	階級と階層、社会運動論	青柳 清貴
第11回	社会集団（組織集団と未組織集団、テニース、マッキーヴァー、クーリー）	青柳 清貴
第12回	家族論（家族の機能、家族間のリーダーシップ、家族の変化）	青柳 清貴
第13回	都市社会学（パーク、バージェス、ホイト）	青柳 清貴
第14回	組織論、大衆社会論	青柳 清貴
第15回	社会学の総まとめ	青柳 清貴
準備学習等	受験対策上、社会学に多くの時間を割けないのが実情である。したがって、意識的に暗記の時間を設け、時機を見て問題集でアウトプットする、ということを短期間のうちに繰り返してほしい。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト社会学（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	ミクロ経済学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	25回
科目教員	岩淵 修	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	消費者の需要分析、企業の生産分析、市場での需要と供給の分析、不完全競争、外部性や公共財、貿易理論などの学習を通してミクロ経済学の基本的な考え方をマスターし、不確実性と情報の非対称性やゲーム理論を理解する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	市場機構と余剰	岩淵 修	
第2回	市場均衡の安定性と調整過程	岩淵 修	
第3回	価格弾性と課税の負担	岩淵 修	
第4回	消費者行動と無差別曲線分析	岩淵 修	
第5回	所得の変化の効果	岩淵 修	
第6回	価格の変化の効果と需要曲線	岩淵 修	
第7回	後方屈伸型労働供給曲線	岩淵 修	

第8回	異時点間の消費と貯蓄	岩淵 修
第9回	短期費用関数と利潤最大化	岩淵 修
第10回	長期費用関数と利潤最大化	岩淵 修
第11回	生産関数と利潤最大化	岩淵 修
第12回	供給曲線の導出	岩淵 修
第13回	パレート最適と厚生経済学の基本定理	岩淵 修
第14回	不完全競争の基礎理論	岩淵 修
第15回	複占とクールノー・モデル	岩淵 修
第16回	シュタッケルベルク・モデルとベルトラン・モデル	岩淵 修
第17回	屈折需要曲線と独占的競争	岩淵 修
第18回	市場の失敗と外部性	岩淵 修
第19回	公共財と自然独占	岩淵 修
第20回	不確実性とリスクの経済学	岩淵 修
第21回	情報の非対称性とゲーム理論	岩淵 修
第22回	混合戦略ゲームと展開型ゲーム	岩淵 修
第23回	投票のパラドックスと中位投票者定理	岩淵 修
第24回	比較生産性費説とヘクシャー・オリーンの定理	岩淵 修
第25回	貿易政策の効果	岩淵 修

準備学習等	ミクロ経済学を初めて学ぶという人が多いと思われるので、予習よりは復習を中心に行うこと。特に経済学用語はわかりやすい言葉に置き換えて覚え、講義で詳しく説明した箇所を中心に後でよく見直すこと。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅰ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	ミクロ経済学演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	25回
科目教員	岩 淵 修	成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
: %			
: %			
: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	講義で学習したミクロ経済学に関する実際の問題を解いて、解き方を学習するとともに、ミクロ経済学の理解を確かめ、問題を解くことで理解を一層深める。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	余剰分析と厚生損失	岩 淵 修	
第2回	ワルラス安定とマーシャル安定	岩 淵 修	
第3回	需要の価格弾力性	岩 淵 修	
第4回	無差別曲線と最適消費	岩 淵 修	
第5回	代替効果と所得効果	岩 淵 修	
第6回	最適消費と需要曲線	岩 淵 修	
第7回	後方屈伸型労働供給曲線	岩 淵 修	

第8回	異時点間の消費と貯蓄	岩淵 修
第9回	利潤最大化条件と損益分岐点と操業停止点	岩淵 修
第10回	長期利潤最大化条件	岩淵 修
第11回	生産関数と利潤最大化条件	岩淵 修
第12回	パレート最適条件と厚生経済学の基本定理	岩淵 修
第13回	独占の利潤最大化条件とクールノー・モデル	岩淵 修
第14回	シュタッケルベルク・モデルとベルトラン・モデル	岩淵 修
第15回	屈折需要曲線と独占的競争	岩淵 修
第16回	外部経済と外部不経済	岩淵 修
第17回	公共財と自然独占	岩淵 修
第18回	リスクに対する態度と期待効用	岩淵 修
第19回	逆選択とモラル・ハザード	岩淵 修
第20回	ゲーム理論と標準型ゲーム	岩淵 修
第21回	混合戦略ゲーム	岩淵 修
第22回	投票のパラドックス	岩淵 修
第23回	リカードの比較生産費説	岩淵 修
第24回	ヘクシャー・オリーンの定理と関連定理	岩淵 修
第25回	貿易政策の効果	岩淵 修

準備学習等	事前に講義内容の確認をしてから問題を解き、解けなかった問題や不明な点は、再度理論内容をテキストやノートで復習することが大切となる。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅰ、実戦問題集Ⅰ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	マクロ経済学	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	岩 淵 修	授業回数	25回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
: %			
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	国民経済計算の基本構造を把握し、標準的なケインジアン・モデルである45度線モデル、IS-LMモデル、AD-ASモデル、国際経済モデルを学習するとともに、マネタリスや合理的期待学派の経済学などを理解し、マクロ経済政策の効果を考察する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	経済活動の測定と国民所得	岩 淵 修	
第2回	産業連関表と分析	岩 淵 修	
第3回	45度線モデル	岩 淵 修	
第4回	ケインズの投資関数論	岩 淵 修	
第5回	貨幣数量説と貨幣需要	岩 淵 修	
第6回	IS-LM分析モデル	岩 淵 修	
第7回	IS-LMモデルと経済政策	岩 淵 修	

第8回	貨幣供給と金融政策	岩淵 修
第9回	為替レートと為替レート決定理論	岩淵 修
第10回	マンデル・フレミング・モデル①	岩淵 修
第11回	マンデル・フレミング・モデル②	岩淵 修
第12回	消費関数論争	岩淵 修
第13回	投資関数論	岩淵 修
第14回	経済成長と成長会計	岩淵 修
第15回	ハロッド・ドーマー・モデル	岩淵 修
第16回	ソロー・モデル	岩淵 修
第17回	労働市場論	岩淵 修
第18回	AD-ASモデル	岩淵 修
第19回	AD-ASモデルと経済政策	岩淵 修
第20回	ペバレッジ曲線と自然失業率	岩淵 修
第21回	フィリップス曲線	岩淵 修
第22回	IAD曲線とIAS曲線①	岩淵 修
第23回	IAD曲線とIAS曲線②	岩淵 修
第24回	合理的期待形成仮説	岩淵 修
第25回	マクロ経済政策	岩淵 修

準備学習等	マクロ経済学を初めて学ぶという人が多いと思われるので、予習よりは復習を中心に行ってください。特に経済学用語はわかりやすい言葉に置き換えて覚え、講義で詳しく説明した箇所を中心に、よく学習すること。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅱ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	マクロ経済学演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	30回
科目教員	岩淵 修	成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	講義で学習したマクロ経済学に関する実際の問題を解いて、解き方を学習するとともに、マクロ経済学の理解を確かめ、問題を解くことで理解を一層深める。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	国民所得の概念	岩淵 修	
第2回	産業連関表	岩淵 修	
第3回	財市場と45度線分析	岩淵 修	
第4回	経済政策と乗数効果	岩淵 修	
第5回	ケインズの投資関数論	岩淵 修	
第6回	古典派の経済学と貨幣数量説	岩淵 修	
第7回	流動性選好説とケインズ	岩淵 修	

第8回	貨幣市場の部分均衡分析	岩淵 修
第9回	IS曲線、LM曲線の導出	岩淵 修
第10回	IS-LM分析モデル①	岩淵 修
第11回	IS-LM分析モデル②	岩淵 修
第12回	経済政策とクラウディング・アウト効果	岩淵 修
第13回	マネー・ストックの定義と分類	岩淵 修
第14回	ハイ・パワード・マネーと貨幣乗数	岩淵 修
第15回	国際収支表とISバランス	岩淵 修
第16回	為替レート決定の理論	岩淵 修
第17回	Jカーブ効果とマーシャル・ラーナー条件	岩淵 修
第18回	マンデル・フレミング・モデル	岩淵 修
第19回	ローレンツ曲線とジニ係数	岩淵 修
第20回	消費関数論争	岩淵 修
第21回	いろいろな投資関数・成長会計	岩淵 修
第22回	ハロッド・ドーマー・モデル	岩淵 修
第23回	ソロー・モデル	岩淵 修
第24回	内生的経済成長モデル	岩淵 修
第25回	労働市場	岩淵 修

第26回	ベバレッジ曲線と自然失業率	岩淵 修
第27回	AD-AS分析モデル	岩淵 修
第28回	フィリップス曲線と自然失業率仮説	岩淵 修
第29回	IAD曲線とIAS曲線の導出・IAD-IAS曲線分析モデル	岩淵 修
第30回	マネタリストの経済学・金融市場とイールド・カーブ	岩淵 修
準備学習等	事前に講義内容を確認してから問題を解き、解けなかった問題や不明な点は、再度、理論内容をテキスト、ノートで復習することが大切となる。	
教科書 参考書等	テキスト経済学II、実戦問題集II（大原出版株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	財政学	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		15回	
科目教員	岩淵 修	成績 評価 方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
					%
					%
科目教員のうち 実務経験教員					%
					%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	現代の経済社会において重要な役割を果たしている財政を理論面、制度面、政策面から理解するとともに、日本の一般会計予算や地方財政などの財政事情を把握し、同時に財政の国際比較をおこない、日本の現状を理解する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	財政の三機能と財政の学説史				岩淵 修
第2回	予算原則と予算制度				岩淵 修
第3回	予算制度と予算過程				岩淵 修
第4回	日本の一般会計当初予算の現状				岩淵 修
第5回	社会保障関係費などの財政事情				岩淵 修
第6回	財政投融资				岩淵 修
第7回	租税と租税原則				岩淵 修

第8回	租税理論と負の所得税	岩淵 修
第9回	日本の租税制度と財政事情①	岩淵 修
第10回	日本の租税制度と財政事情②	岩淵 修
第11回	国債発行と保有状況	岩淵 修
第12回	公債理論（負担の転嫁）	岩淵 修
第13回	日本の財政史	岩淵 修
第14回	地方財政の制度と事情	岩淵 修
第15回	財政事情の国際比較	岩淵 修
準備学習等	最近の傾向として、日本の経済・財政問題や世界の経済・財政問題などの時事に関する出題が多くなっているため、ニュースや新聞等から情報を入手すること。	
教科書 参考書等	テキスト財政学、実戦問題集 財政学（大原出版株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	プレゼンテーション能力Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	1単位		
科目教員	大庄司文子		授業回数	15回	
			成績評価方法	実技試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	大庄司文子			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁におけるシステム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。				
実務経験教員の 実務経験内容	企業にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。				
授業目的 到達目標	ビジネスシーンを想定したプレゼンテーション能力の向上を目的とする。 ビジネスシーンで即戦力となるようパワーポイントの基礎知識を身に付け、プレゼンテーション技能認定試験に合格することを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	プレゼンテーション技能（基礎知識）			大庄司文子	
第2回	プレゼンテーション技能（基本操作）			大庄司文子	
第3回	プレゼンテーション技能（環境の設定と変更）			大庄司文子	
第4回	プレゼンテーション技能（書式設定）			大庄司文子	
第5回	プレゼンテーション技能（スライド）			大庄司文子	
第6回	プレゼンテーション技能（ファイル）			大庄司文子	
第7回	プレゼンテーション技能（編集）			大庄司文子	

第8回	プレゼンテーション技能（罫線と表）	大庄司文子
第9回	プレゼンテーション技能（オブジェクト）	大庄司文子
第10回	プレゼンテーション技能（校閲）	大庄司文子
第11回	プレゼンテーション技能 練習問題①	大庄司文子
第12回	プレゼンテーション技能 練習問題②	大庄司文子
第13回	プレゼンテーション技能 練習問題③	大庄司文子
第14回	プレゼンテーション技能 練習問題④	大庄司文子
第15回	プレゼンテーション技能 練習問題⑤	大庄司文子
準備学習等	基本的に予習は不要。各自のプレゼンテーション能力の習熟度に応じた自主的な演習時間の確保が必要である。	
教科書 参考書等	プレゼンテーション技能認定試験 問題集（サーティファイ）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	適性検査演習 A	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	60回
科目教員	佐々木智也	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	行政事務に携わる者の基本となる「事務処理能力」を向上させ、事務官として職務を遂行することができる能力を身に付けることを目的とする。それぞれの分野を併せた総合問題を解くことにより、事務処理能力のさらなる向上を目指し、それを定着させ、事務官として職務を遂行することができる人材となることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第2回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第3回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第4回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第5回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第6回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第7回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	

第8回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第9回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第10回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第11回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第12回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第13回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第14回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第15回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第16回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第17回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第18回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第19回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第20回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第21回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第22回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第23回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第24回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第25回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也

第26回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第27回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第28回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第29回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第30回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第31回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第32回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第33回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第34回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第35回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第36回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第37回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第38回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第39回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第40回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第41回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第42回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第43回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也

第44回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第45回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第46回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第47回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第48回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第49回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第50回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第51回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第52回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第53回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第54回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第55回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第56回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第57回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第58回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第59回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第60回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
準備学習等	事前準備は不要だが、間違えた問題や時間内に解答できなかった問題の復習を行い、弱点克服に努めてほしい。	

教科書 参考書等	TEXT適性試験、実戦問題集適性試験（大原出版） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。問題の自己採点ややり直しも時間に含み、授業1回あたり1時間を想定している。また、映像等による配信授業を行う場合もある。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎国語	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		10回	
科目教員	佐々木智也	成績評価方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
					%
					%
科目教員のうち 実務経験教員					%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>公務員試験の受験に必要な文章理解・国語の基礎項目を理解し、基本問題を確実に得点できる能力を身に付けることを目的とする。文章理解においては、まず問題を解く際の基本的な考え方を理解した上で例題に取り組み、正しい解き方を身に付ける。さらに、それを前提に様々なパターンの問題に触れて、パターン別の解き方のコツを掴み、基礎レベルの問題を確実に得点できることを到達目標とする。また、国語においては、頻出分野の問題演習を行い、基本的知識を習得することを到達目標とする。さらにこの科目では、公務員試験で実施される作文試験の対策も行う。まずは採点のポイントを理解し、それぞれの分野における基本項目を学ぶことを目的とする。それを踏まえた上で、合格答案を作成できることを到達目標とする。</p>				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	主旨・要旨把握問題①				佐々木智也
第2回	主旨・要旨把握問題②				佐々木智也
第3回	主旨・要旨把握問題③				佐々木智也
第4回	主旨・要旨把握問題④				佐々木智也
第5回	主旨・要旨把握問題⑤				佐々木智也
第6回	内容合致問題①				佐々木智也

第7回	文章整序問題①	佐々木智也
第8回	空欄補充問題①	佐々木智也
第9回	作文入門①	佐々木智也
第10回	作文入門②	佐々木智也
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違っ問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。</p> <p>習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する可能性がある。</p> <p>受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	基礎数学 A		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	5単位
				授業回数	63回
科目教員	佐々木智也、佐々木勝志		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）の基礎的な知識の習得を図ることが授業目的となる。</p> <p>「数的推理」分野では、問題を解くうえで欠かせない公式の習得およびそれを元に基礎的な問題に対応できるようになること、「判断推理」分野では、条件を正確に読み取り、論理的に組み立てることができるようになることをそれぞれ到達目標とする。理解度を高めるために類似問題の演習時間を設け、苦手箇所の解説を行っていく。「図形」分野では、様々な形を正確にとらえ正答を導けるようになること、「資料解釈」では、資料を正しく読み取る読解力、解析力を習得することをそれぞれ到達目標とする。理解度を高めるため、類似問題を解く演習の時間を設け、苦手箇所の解説を行っていく。</p>				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	数と文字式の計算（1）（数的推理編）			佐々木智也 佐々木勝志	
第2回	数と文字式の計算（2）（数的推理編）			佐々木智也 佐々木勝志	
第3回	方程式（1）（数的推理編）			佐々木智也 佐々木勝志	
第4回	方程式（2）（数的推理編）			佐々木智也 佐々木勝志	
第5回	不等式（1）（数的推理編）			佐々木智也 佐々木勝志	

第6回	不等式（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第7回	整数（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第8回	整数（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第9回	計算パズル（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第10回	計算パズル（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第11回	割合（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第12回	割合（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第13回	比（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第14回	比（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第15回	速さ（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第16回	速さ（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第17回	速さ（3）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第18回	速さ（4）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第19回	その他の文章題（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第20回	その他の文章題（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第21回	場合の数（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第22回	場合の数（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第23回	確率（1）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志

第24回	確率（2）（数的推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第25回	論理（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第26回	論理（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第27回	集合の要素（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第28回	集合の要素（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第29回	順序（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第30回	順序（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第31回	順序（3）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第32回	位置（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第33回	位置（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第34回	方位（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第35回	方位（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第36回	対応（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第37回	対応（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第38回	勝敗（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第39回	勝敗（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第40回	うそつき（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第41回	うそつき（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志

第42回	ウソの発言（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第43回	暗号（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第44回	暗号（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第45回	推理（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第46回	推理（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第47回	手順（1）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第48回	手順（2）（判断推理編）	佐々木智也 佐々木勝志
第49回	回転（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第50回	軌跡（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第51回	道順（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第52回	一筆書き（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第53回	位相（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第54回	平面構成（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第55回	正多面体（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第56回	展開図（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第57回	立体構成（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第58回	平面図形の計量（1）（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第59回	平面図形の計量（2）（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志

第60回	立体図形の計量（１）（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第61回	立体図形の計量（２）（図形編）	佐々木智也 佐々木勝志
第62回	資料解釈（１）（資料解釈編）	佐々木智也 佐々木勝志
第63回	資料解釈（２）（資料解釈編）	佐々木智也 佐々木勝志
準備学習等	公務員試験合格の為には、この科目の内容の習熟は必須であり、今後の演習問題読解においても重要な科目となっていることを意識し日々の復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	テキスト 数的推理 問題編（大原出版）、テキスト 数的推理 解答編（大原出版）、テキスト 判断推理・資料解釈 問題編（大原出版）、テキスト 判断推理・資料解釈 解答編（大原出版）、テキスト 図形・空間把握 問題編（大原出版）、テキスト 図形・空間把握 解答編（大原出版）、スタンダード問題集・解答解説（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックを実施する。なお、問題演習にはその解説の時間も含まれる。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎社会	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	尾形 幸祐、上之郷 奈穂	授業回数	45回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	<p>公務員試験に出題される分野である社会科学(政治・経済・社会)及び人文科学(日本史・世界史)について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業においてさらなる知識の習熟を目指す。</p> <p>政治・経済・社会分野では、公務員試験の出題傾向を把握し合格レベルに到達できるようになること、日本史分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、世界史分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになることをそれぞれ到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	【政治】 政治の基本理念 政治制度論		尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第2回	【日本史】 ガイダンス 原始 先土器・縄文・弥生時代 古代① 大和政権・聖徳太子		尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第3回	【政治】 政治過程論		尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第4回	【日本史】 古代② 大化の改新・律令制度 古代③ 律令制度・班田収授法・租庸調		尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第5回	【政治】 日本国憲法の特徴 基本的人権総論 包括的基本権		尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第6回	【日本史】 古代④ 奈良時代・初期荘園・天平文化 古代⑤ 平安時代・律令政治の再建		尾形 幸祐 上之郷 奈穂

第7回	【政治】 平等権 精神的自由権	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第8回	【日本史】 古代⑥ 平安時代・摂関政治 古代⑦ 平安時代・寄進地系荘園	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第9回	【政治】 経済的自由権 人身の自由	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第10回	【政治】 社会権 能動的権利と受益権	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第11回	【日本史】 古代⑧ 平安時代・武士の起こり 古代⑨ 平安時代 院政	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第12回	【政治】 憲法改正の手續 国会の機構と運営	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第13回	【日本史】 中世① 鎌倉時代・源平の争乱 中世② 鎌倉時代・鎌倉幕府の成立	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第14回	【政治】 内閣の機構と運営	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第15回	【日本史】 中世③ 鎌倉時代・執権政治 中世④ 鎌倉時代 元寇・幕府の衰退	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第16回	【政治】 裁判所の機構と運営	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第17回	【日本史】 中世⑤ 室町時代・室町幕府の成立 中世⑥ 室町時代・日明貿易・戦国時代	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第18回	【政治】 地方自治	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第19回	【経済】 経済社会の変容と経済体制	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第20回	【日本史】 近世① 安土桃山時代・織豊政権・南蛮貿易 近世② 安土桃山時代・太閤検地・江戸幕府の成立	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第21回	【経済】 現代の企業	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第22回	【日本史】 近世③ 江戸時代・幕藩体制・鎖国政策 近世④ 文治政治・正徳の治	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第23回	【経済】 現代の市場	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第24回	【日本史】 近世⑤ 享保の改革・田沼政治 近世⑥ 寛政の改革・大御所時代・天保の改革	尾形 幸祐 上之郷 奈穂

第25回	【経済】 国民所得	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第26回	【日本史】 近代① 明治時代 幕末・明治維新 近代② 明治時代・明治初期の外交・自由民権運動	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第27回	【経済】 経済成長と景気循環	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第28回	【経済】 通貨制度と金融政策	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第29回	【日本史】 近代③ 明治時代 日清戦争・日露戦争 近代④ 大正時代 第一次世界大戦・大正デモクラシー	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第30回	【経済】 財政制度と財政政策	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第31回	【日本史】 近代⑤ 昭和時代 政党内閣・満州事変・第二次世界大戦 現代① 戦後の民主化及び内閣	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第32回	【経済】 貿易と外国為替	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第33回	【日本史】 文化史① 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化 ・国風文化・院政期の文化・鎌倉文化	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第34回	【経済】 日本経済の動向	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第35回	【日本史】 文化史② 南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化 ・寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第36回	【経済】 国際経済の動向	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第37回	【社会】 社会理論	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第38回	【世界史】 東洋史① 殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第39回	【社会】 労働問題	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第40回	【世界史】 東洋史② 魏・晋・南北朝・隋・唐・宋	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第41回	【社会】 社会保障	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第42回	【世界史】 東洋史③ 元・明・清	尾形 幸祐 上之郷 奈穂

第43回	【社会】 環境問題	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第44回	【世界史】 東洋史④ 清末	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
第45回	【社会】 国際関係	尾形 幸祐 上之郷 奈穂
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意すること。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト 政治(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-問題編(大原出版)、 テキスト 経済(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-解答・解説編(大原出版)、 テキスト 社会(大原出版)、テキスト 日本史・世界史(大原出版)、レジュメ 日本史・ 世界史(大原出版)、スタンダード問題集 人文科学-問題編(大原出版)、スタンダード問 題集 人文科学-解答・解説編(大原出版) Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	人文科学C	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	上之郷奈穂	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>公務員試験に出題される分野である人文科学(日本史・世界史)について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業においてさらなる知識の習熟を目指す。</p> <p>日本史分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、世界史分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになることをそれぞれ到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	【日本史】 ガイダンス 原始 先土器・縄文・弥生時代 古代① 大和政権・聖徳太子	上之郷奈穂	
第2回	【日本史】 古代② 大化の改新・律令制度 古代③ 律令制度・班田収授法・租庸調	上之郷奈穂	
第3回	【日本史】 古代④ 奈良時代・初期荘園・天平文化 古代⑤ 平安時代・律令政治の再建	上之郷奈穂	
第4回	【日本史】 古代⑥ 平安時代・摂関政治 古代⑦ 平安時代・寄進地系荘園	上之郷奈穂	
第5回	【日本史】 古代⑧ 平安時代・武士の起こり 古代⑨ 平安時代 院政	上之郷奈穂	
第6回	【日本史】 中世① 鎌倉時代・源平の争乱 中世② 鎌倉時代・鎌倉幕府の成立	上之郷奈穂	
第7回	【日本史】 中世③ 鎌倉時代・執権政治 中世④ 鎌倉時代 元寇・幕府の衰退	上之郷奈穂	

第8回	【日本史】 中世⑤ 室町時代・室町幕府の成立 中世⑥ 室町時代・日明貿易・戦国時代	上之郷奈穂
第9回	【日本史】 近世① 安土桃山時代・織豊政権・南蛮貿易 近世② 安土桃山時代・太閤検地・江戸幕府の成立	上之郷奈穂
第10回	【日本史】 近世③ 江戸時代・幕藩体制・鎖国政策 近世④ 文治政治・正徳の治	上之郷奈穂
第11回	【日本史】 近世⑤ 享保の改革・田沼政治 近世⑥ 寛政の改革・大御所時代・天保の改革	上之郷奈穂
第12回	【日本史】 近代① 明治時代 幕末・明治維新 近代② 明治時代・明治初期の外交・自由民権運動	上之郷奈穂
第13回	【日本史】 近代③ 明治時代 日清戦争・日露戦争 近代④ 大正時代 第一次世界大戦・大正デモクラシー	上之郷奈穂
第14回	【日本史】 近代⑤ 昭和時代 政党内閣・満州事変・第二次世界大戦 現代① 戦後の民主化及び内閣	上之郷奈穂
第15回	【日本史】 文化史① 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化 ・国風文化・院政期の文化・鎌倉文化	上之郷奈穂
第16回	【日本史】 文化史② 南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化 ・寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	上之郷奈穂
第17回	【世界史】 東洋史① 殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢	上之郷奈穂
第18回	【世界史】 東洋史② 魏・晋・南北朝・隋・唐・宋	上之郷奈穂
第19回	【世界史】 東洋史③ 元・明・清	上之郷奈穂
第20回	【世界史】 東洋史④ 清末	上之郷奈穂
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意すること。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト 日本史・世界史(大原出版)、レジュメ 日本史・世界史(大原出版)、スタンダード問題集 人文科学-問題編(大原出版)、スタンダード問題集 人文科学-解答・解説編(大原出版) Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。 	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会科学C	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	尾形幸祐	授業回数	25回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>公務員試験に出題される分野である社会科学(政治・経済・社会)について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業においてさらなる知識の習熟を目指す。</p> <p>政治・経済・社会分野では、公務員試験の出題傾向を把握し合格レベルに到達できるようになることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	【政治】 政治の基本理念 政治制度論		尾形幸祐
第2回	【政治】 政治過程論		尾形幸祐
第3回	【政治】 日本国憲法の特徴 基本的人権総論 包括的基本権		尾形幸祐
第4回	【政治】 平等権 精神的自由権		尾形幸祐
第5回	【政治】 経済的自由権 人身の自由		尾形幸祐
第6回	【政治】 社会権 能動的権利と受益権		尾形幸祐
第7回	【政治】 憲法改正の手続 国会の機構と運営		尾形幸祐

第8回	【政治】 内閣の機構と運営	尾形幸祐
第9回	【政治】 裁判所の機構と運営	尾形幸祐
第10回	【政治】 地方自治	尾形幸祐
第11回	【経済】 経済社会の変容と経済体制	尾形幸祐
第12回	【経済】 現代の企業	尾形幸祐
第13回	【経済】 現代の市場	尾形幸祐
第14回	【経済】 国民所得	尾形幸祐
第15回	【経済】 経済成長と景気循環	尾形幸祐
第16回	【経済】 通貨制度と金融政策	尾形幸祐
第17回	【経済】 財政制度と財政政策	尾形幸祐
第18回	【経済】 貿易と外国為替	尾形幸祐
第19回	【経済】 日本経済の動向	尾形幸祐
第20回	【経済】 国際経済の動向	尾形幸祐
第21回	【社会】 社会理論	尾形幸祐
第22回	【社会】 労働問題	尾形幸祐
第23回	【社会】 社会保障	尾形幸祐
第24回	【社会】 環境問題	尾形幸祐
第25回	【社会】 国際関係	尾形幸祐

準備学習等	<p>学習開始までに各自ノートを用意すること。</p> <p>各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。</p>
教科書 参考書等	<p>テキスト 政治(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-問題編(大原出版)、</p> <p>テキスト 経済(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-解答・解説編(大原出版)、</p> <p>テキスト 社会(大原出版)、Monoxer (モノグサ株式会社)</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	基礎社会Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	佐藤茂樹	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野である地理について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業において更なる知識の習熟を目指す。日本のみならず世界情勢についても理解を深め、最終的には公務員試験一次試験を合格できる知識を身につけることを到達目標としている。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	世界の地形	佐藤茂樹	
第2回	平野と海岸の地形	佐藤茂樹	
第3回	特殊な地形と海洋	佐藤茂樹	
第4回	世界の気候・植生・土壌	佐藤茂樹	
第5回	気候区分	佐藤茂樹	
第6回	ハイサーグラフ・地図の特色と利用	佐藤茂樹	
第7回	アジア・ヨーロッパの農牧業	佐藤茂樹	

第8回	アメリカの農牧業・世界の漁場	佐藤茂樹
第9回	エネルギー資源と原料資源	佐藤茂樹
第10回	世界の工業地域（ヨーロッパ）	佐藤茂樹
準備学習等	日々の復習による知識の定着を勧める。公務員試験合格のためには重要な科目となっているため、日々の授業や復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	地理 テキスト・ドリル（大原出版）、新詳高等地図（帝国書院）、 （モノグサ株式会社）	Monoxer
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 <p>受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	総合演習 F	授業形態	
		演習	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	佐々木智也、佐々木勝志	授業回数	38回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）の問題の傾向をつかみ、様々な問題に対応できるようになることが授業目的となる。</p> <p>全範囲対応の問題集および模擬試験を用いて演習、解説を中心とした授業を行い、その問題にあった適切な解法を自分で見つけられるようになることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志
第2回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志
第3回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志
第4回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志
第5回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志
第6回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志
第7回	問題演習（数的推理総復習）		佐々木智也 佐々木勝志

第8回	問題演習（数の推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第9回	問題演習（数の推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第10回	問題演習（数の推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第11回	問題演習（数の推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第12回	問題演習（数の推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第13回	問題演習（数の推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第14回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第15回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第16回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第17回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第18回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第19回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第20回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第21回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第22回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第23回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第24回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第25回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志

第26回	問題演習（判断推理総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第27回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第28回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第29回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第30回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第31回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第32回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第33回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第34回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第35回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第36回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第37回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
第38回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	佐々木智也 佐々木勝志
準備学習等	数的処理全範囲での問題演習となるため、基礎的な知識が不足していると感じた場合は速やかに過去の授業の復習を行うこと。	
教科書 参考書等	スタンダード問題集・解答解説、公務員試験模擬試験・解説（大原出版） 公務員希望者用模擬試験（実務教育出版）・Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	総合演習 G	授業形態	
		演習	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	尾形幸祐、上之郷志穂、佐藤茂樹、 佐々木智也	授業回数	38回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>模擬試験形式の教材を使い、実際の公務員試験に対応可能な幅広い知識と解法を身に付けることを目的とする。政治・経済・社会分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになること、日本史分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、世界史分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、地理分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになること、文章理解、国語分野では標準レベルの問題を確実に得点できる能力を身に付けることをそれぞれ目的とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	問題演習（1）政治の基本概念、原始時代、世界の地形	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也	
第2回	問題演習（2）政治制度論・政治過程論、飛鳥時代、平野と海岸の地形	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也	
第3回	問題演習（3）日本国憲法の特徴、奈良時代、特殊な地形と海洋	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也	

第4回	問題演習（4）基本的人権総論、平安時代①、世界の風	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第5回	問題演習（5）包括的基本権、平安時代②、世界の植生・土壌	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第6回	問題演習（6）平等権、鎌倉時代①、世界の気候	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第7回	問題演習（7）精神的自由権・経済的自由権、鎌倉時代②、 雨温図とハイサーグラフ	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第8回	問題演習（8）人身の自由、室町時代①、地図の特色と利用	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第9回	問題演習（9）社会権・能動的権利と受益権、室町時代②、資源・産業	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第10回	問題演習（10）憲法改正の手続、室町時代③、食料の生産と消費	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第11回	問題演習（11）国会の機構と運営、安土桃山時代、アジアの農牧業	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第12回	問題演習（12）内閣の機構と運営、江戸時代①、ヨーロッパの農牧業	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第13回	問題演習（13）裁判所の機構と運営、江戸時代②、アメリカの農牧業と漁業	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也

第14回	問題演習（14）地方自治、江戸時代③、エネルギー資源(石炭)	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第15回	問題演習（15）現代の企業・現代の市場、江戸時代④、エネルギー資源(石油)	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第16回	問題演習（16）国民所得、江戸時代⑤、エネルギー資源(鉄山)	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第17回	問題演習（17）経済成長と景気循環、江戸時代⑥、世界の電力	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第18回	問題演習（18）通貨制度と金融政策、江戸時代⑦、工業化と工業地域	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第19回	問題演習（19）財政制度と財政政策、明治時代①、世界の工業地域(ヨーロッパ)	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第20回	問題演習（20）貿易と外国為替、明治時代②、世界の工業地域(アメリカ・中国)	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第21回	問題演習（21）日本経済の動向、明治時代③、村落と都市	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第22回	問題演習（22）国際経済の動向、明治時代④、人口の地域的特色	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第23回	問題演習（23）現代社会・パーソナリティ、大正時代、国土と住民	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也

第24回	問題演習（24）労働法規、昭和時代①、交通・通信と貿易	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第25回	問題演習（25）日本の労働状況、昭和時代②、世界の環境問題	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第26回	問題演習（26）社会保障の状況、昭和時代③、日本の国土	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第27回	問題演習（27）医療保険制度・年金制度の改革、中国史①（殷～後漢）、日本の自然環境	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第28回	問題演習（28）日本の環境問題、中国史②（三国時代～宋）、日本の人口	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第29回	問題演習（29）地球環境問題、中国史③(元～明)、日本の産業	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第30回	問題演習（30）国際関係、中国史④(清)、日本の諸地域	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第31回	問題演習（31）主旨・要旨把握問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第32回	問題演習（32）主旨・要旨把握問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第33回	問題演習（33）内容合致問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也

第34回	問題演習（34）内容合致問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第35回	問題演習（35）文章整序問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第36回	問題演習（36）文章整序問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第37回	問題演習（37）空欄補充問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
第38回	問題演習（38）空欄補充問題（標準問題）	尾形幸祐 上之郷志穂 佐藤茂樹 佐々木智也
準備学習等	講義開始日までに各自ノートを用意すること。各回の講義終了後は、テキストやレジюме、模擬試験等を使用して各自復習しておくこと。	
教科書 参考書等	テキスト(政治・経済・社会・日本史・世界史・地理)、公務員試験模擬問題・解説(大原出版)、レジюме(日本史・世界史・地理)、ドリル(日本史・世界史・地理)、地図帳(帝国書院)、スタンダード問題集文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	総合演習H	授業形態		
		演習	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位	
科目教員	佐々木智也、佐々木勝志、尾形幸祐、 上之郷奈穂、佐藤茂樹	授業回数	10回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される分野の理解度を高めるために、類似問題の模擬試験（ウィークリーチェック）を行い、苦手箇所の解説を行っていく。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹		
第2回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹		
第3回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹		

第4回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
第5回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
第6回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
第7回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
第8回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
第9回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
第10回	模擬試験（ウィークリーチェック）	佐々木智也 佐々木勝志 尾形幸祐 上之郷奈穂 佐藤茂樹
準備学習等	公務員試験合格の為には、類似問題の習熟は必須である。今後の演習問題読解においても重要な科目となっていることを意識し日々の復習に努めてほしい。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>テキスト 数的推理 問題編 (大原出版)、テキスト 数的推理 解答編 (大原出版)、テキスト 判断推理・資料解釈 問題編 (大原出版)、テキスト 判断推理・資料解釈 解答編 (大原出版)、テキスト 図形・空間把握 問題編 (大原出版)、テキスト 図形・空間把握 解答編 (大原出版)、スタンダード問題集・解答解説 (大原出版)、テキスト 政治(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-問題編(大原出版)、テキスト 経済(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-解答・解説編(大原出版)、テキスト 社会(大原出版)、テキスト 日本史・世界史(大原出版)、レジюме 日本史・世界史(大原出版)、スタンダード問題集 人文科学-問題編(大原出版)、スタンダード問題集 人文科学-解答・解説編(大原出版)、地理 テキスト・ドリル (大原出版)、新詳高等地図 (帝国書院)、Monoxer (モノグサ株式会社)</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。</p>

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎C	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	4単位
科目教員	佐々木智也	授業回数	80回
		成績評価方法	レポート : 50 %
			平常点 : 50 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	社会人になるにあたって必要な、他者との相互理解やコミュニケーション能力を身に付けること、そして自分の意見を相手に伝えられるようになることが授業目的となる。そのため、職種研究により志望先への理解を深め、校外研修を通じて積極的に他者と関わることを促し、自己分析と模擬面接練習を繰り返して、自らを表現するための能力を磨いていく。それらが身に付いた状態となることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	時事問題（政治編①）	佐々木智也	
第2回	時事問題（政治編②）	佐々木智也	
第3回	時事問題（政治編③）	佐々木智也	
第4回	時事問題（政治編④）	佐々木智也	
第5回	時事問題（経済編①）	佐々木智也	
第6回	時事問題（経済編②）	佐々木智也	
第7回	時事問題（経済編③）	佐々木智也	

第8回	時事問題（経済編④）	佐々木智也
第9回	時事問題（社会・文化編①）	佐々木智也
第10回	時事問題（社会・文化編②）	佐々木智也
第11回	時事問題（社会・文化編③）	佐々木智也
第12回	時事問題（社会・文化編④）	佐々木智也
第13回	時事問題（科学・自然編①）	佐々木智也
第14回	時事問題（科学・自然編②）	佐々木智也
第15回	時事問題（科学・自然編③）	佐々木智也
第16回	時事問題（科学・自然編④）	佐々木智也
第17回	模擬面接事前準備①	佐々木智也
第18回	模擬面接①	佐々木智也
第19回	模擬面接事前準備②	佐々木智也
第20回	模擬面接②	佐々木智也
第21回	模擬面接事前準備③	佐々木智也
第22回	模擬面接③	佐々木智也
第23回	模擬面接事前準備④	佐々木智也
第24回	模擬面接④	佐々木智也
第25回	模擬面接事前準備⑤	佐々木智也

第26回	模擬面接⑤	佐々木智也
第27回	模擬面接事前準備⑥	佐々木智也
第28回	模擬面接⑥	佐々木智也
第29回	模擬面接事前準備⑦	佐々木智也
第30回	模擬面接⑦	佐々木智也
第31回	模擬面接事前準備⑧	佐々木智也
第32回	模擬面接⑧	佐々木智也
第33回	模擬面接事前準備⑨	佐々木智也
第34回	模擬面接⑨	佐々木智也
第35回	模擬面接事前準備⑩	佐々木智也
第36回	模擬面接⑩	佐々木智也
第37回	模擬面接事前準備⑪	佐々木智也
第38回	模擬面接⑪	佐々木智也
第39回	模擬面接事前準備⑫	佐々木智也
第40回	模擬面接⑫	佐々木智也
第41回	模擬面接事前準備⑬	佐々木智也
第42回	模擬面接⑬	佐々木智也
第43回	模擬面接事前準備⑭	佐々木智也

第44回	模擬面接⑭	佐々木智也
第45回	模擬面接事前準備⑮	佐々木智也
第46回	模擬面接⑮	佐々木智也
第47回	模擬面接事前準備⑯	佐々木智也
第48回	模擬面接⑰	佐々木智也
第49回	模擬面接事前準備⑱	佐々木智也
第50回	模擬面接⑱	佐々木智也
第51回	模擬面接事前準備⑳	佐々木智也
第52回	模擬面接㉑	佐々木智也
第53回	模擬面接事前準備㉒	佐々木智也
第54回	模擬面接㉒	佐々木智也
第55回	模擬面接事前準備㉓	佐々木智也
第56回	模擬面接㉓	佐々木智也
第57回	校外研修準備作業①	佐々木智也
第58回	校外研修準備作業②	佐々木智也
第59回	校外研修準備作業③	佐々木智也
第60回	校外研修準備作業④	佐々木智也
第61回	校外研修①	佐々木智也

第62回	校外研修②	佐々木智也
第63回	校外研修③	佐々木智也
第64回	校外研修④	佐々木智也
第65回	校外研修⑤	佐々木智也
第66回	校外研修⑥	佐々木智也
第67回	校外研修⑦	佐々木智也
第68回	校外研修⑧	佐々木智也
第69回	校外研修⑨	佐々木智也
第70回	校外研修⑩	佐々木智也
第71回	校外研修⑪	佐々木智也
第72回	校外研修⑫	佐々木智也
第73回	校外研修⑬	佐々木智也
第74回	校外研修⑭	佐々木智也
第75回	校外研修⑮	佐々木智也
第76回	校外研修⑯	佐々木智也
第77回	校外研修⑰	佐々木智也
第78回	校外研修⑱	佐々木智也
第79回	校外研修⑲	佐々木智也

第80回	校外研修⑳	佐々木智也
準備学習等	レポートは自分で記入するもの以外に、面接練習を面接官役が評価したものも含まれる。成績評価に影響するため、提出期限やレポートの紛失に気を付けること。	
教科書 参考書等	テキスト面接試験対策（大原出版）、他配布プリント多数	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。模擬面接及び校外研修では科目教員以外が補助として面接官役や引率役を務める場合がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎D	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
科目教員	佐々木智也、大庄司文子	授業回数	25回
		成績評価方法	評価試験 : 40 %
			実技試験 : 40 %
			平常点 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員	大庄司文子		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁におけるシステム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。		
実務経験教員の 実務経験内容	一般企業にて、OA機器インストラクション業務に従事していた。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。		
授業目的 到達目標	基礎的なパソコンスキルや電話応対など即戦力として活躍できる人材となることを授業目的とし、大原学園独自のPCP（プレ・キャリア・プログラム）の授業を中心に行っていく。文書作成ソフトの実践的な使用法を学ぶことで、ビジネス文書をスムーズに作成できるようになること、敬語などの正しい言葉遣いを用いてスムーズな電話応対ができるようになることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	文書作成ソフト（文字書式・拡張書式・段落書式）	大庄司文子	
第2回	文書作成ソフト（タブとリーダー・段組み・箇条書き）	大庄司文子	
第3回	文書作成ソフト（段落番号・ドロップキャップ・スタイル）	大庄司文子	
第4回	文書作成ソフト（ページ設定と印刷設定）	大庄司文子	
第5回	文書作成ソフト（テキスト編集・ヘッダーとフッター）	大庄司文子	
第6回	文書作成ソフト（表のデザインとレイアウト）	大庄司文子	

第7回	文書作成ソフト（オブジェクトの作成・図と図形の書式）	大庄司文子
第8回	文書作成ソフト（配置と整列）	大庄司文子
第9回	文書作成練習問題①	大庄司文子
第10回	文書作成練習問題②	大庄司文子
第11回	文書作成練習問題③	大庄司文子
第12回	文書作成模擬問題①	大庄司文子
第13回	文書作成模擬問題②	大庄司文子
第14回	文書作成模擬問題③	大庄司文子
第15回	文書作成模擬問題④	大庄司文子
第16回	文書作成模擬問題⑤	大庄司文子
第17回	文書作成模擬問題⑥	大庄司文子
第18回	文書作成模擬問題⑦	大庄司文子
第19回	職場のマナー（社会人の心構えと職場のマナー）	佐々木智也
第20回	職場のマナー（仕事の進め方と報・連・相）	佐々木智也
第21回	挨拶と敬語（挨拶の種類・笑顔・お辞儀）	佐々木智也
第22回	挨拶と敬語（正しい敬語の使い方・応対の基本）	佐々木智也
第23回	電話応対①（電話応対のマナー）	佐々木智也
第24回	電話応対②（電話の受け方、かけ方）	佐々木智也

第25回	電話対応③（状況別の電話対応）	佐々木智也
準備学習等	<p>予習は不要であるが、授業で進んだところまでの復習をしっかりと行うこと。パソコンを使っての授業が多いため、復習にあたって自宅にパソコンがない学生は校内のパソコン教室を使用しても良い。その場合は科目教員にあらかじめ申し出ること。</p>	
教科書 参考書等	<p>サーティファイWord文書処理技能認定試験3級問題集（株式会社ウィネット） サーティファイWord文書処理技能認定試験1.2級問題集（株式会社ウィネット） PCPビジネスマナー（大原出版）</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する可能性がある。また、パソコンを使用しない授業については状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	社会人総合演習Ⅱ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	1単位
				授業回数	25回
科目教員	佐々木智也		成績評価方法	レポート	: 40 %
				小テスト	: 30 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	職種研究により志望先への理解を深め、自己分析を繰り返して、自らを表現するための能力を磨いていく。授業の一部には選択授業を設定し、自分の志望先に応じた授業を選択し、志望先に関わる正しい知識を身に付けることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	職種研究①			佐々木智也	
第2回	職種研究②			佐々木智也	
第3回	職種研究③			佐々木智也	
第4回	職種研究④			佐々木智也	
第5回	職種研究⑤			佐々木智也	
第6回	自己分析の進め方、自己分析シート作成①			佐々木智也	
第7回	自己分析シート作成②			佐々木智也	

第8回	自己分析シート作成③	佐々木智也
第9回	自己分析シート作成④	佐々木智也
第10回	自己分析シート作成⑤	佐々木智也
第11回	面接想定シート作成①	佐々木智也
第12回	面接想定シート作成②	佐々木智也
第13回	面接想定シート作成③	佐々木智也
第14回	面接想定シート作成④	佐々木智也
第15回	面接想定シート作成⑤	佐々木智也
第16回	選択授業①	佐々木智也
第17回	選択授業②	佐々木智也
第18回	選択授業③	佐々木智也
第19回	選択授業④	佐々木智也
第20回	選択授業⑤	佐々木智也
第21回	選択授業⑥	佐々木智也
第22回	選択授業⑦	佐々木智也
第23回	選択授業⑧	佐々木智也
第24回	選択授業⑨	佐々木智也
第25回	選択授業⑩	佐々木智也

準備学習等	予習の必要はないが、選択授業実施の際にはレポートの事後提出を求めることが多い。期限までの提出を徹底すること。
教科書 参考書等	Monoxer（モノグサ株式会社）他配布プリント多数（なお、プリントはどの授業を選択したかによっても異なる。）
備考	選択授業は各種業務説明会、スーツセミナー、メイクアップセミナー、体力試験対策等の中から自分の進路希望に沿うものを選択し参加する形とする。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある（体力試験対策など提供が難しい場合は除く）。授業1回あたり1時間を想定している。

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	適性検査演習Ⅱ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	50回
科目教員	佐々木智也	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	行政事務に携わる者の基本となる「事務処理能力」を向上させ、事務官として職務を遂行することができる能力を身に付けることを目的とする。それぞれの分野を併せた総合問題を解くことにより、事務処理能力のさらなる向上を目指し、それを定着させ、事務官として職務を遂行することができる人材となることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第2回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第3回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第4回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第5回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第6回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	
第7回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也	

第8回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第9回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第10回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第11回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第12回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第13回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第14回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第15回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第16回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第17回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第18回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第19回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第20回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第21回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第22回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第23回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第24回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第25回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也

第26回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第27回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第28回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第29回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第30回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第31回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第32回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第33回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第34回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第35回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第36回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第37回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第38回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第39回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第40回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第41回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第42回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第43回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也

第44回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第45回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第46回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第47回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第48回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第49回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
第50回	適性検査、性格検査問題演習	佐々木智也
準備学習等	事前準備は不要だが、間違えた問題や時間内に解答できなかった問題の復習を行い、弱点克服に努めてほしい。	
教科書 参考書等	TEXT適性試験、実戦問題集適性試験（大原出版） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。問題の自己採点ややり直しも時間を含み、授業1回あたり1時間を想定している。また、映像等による配信授業を行う場合もある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	商業簿記Ⅲ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員		授業回数	30回
科目教員のうち 実務経験教員		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記の基本となる日々の取引の仕訳をできるようになること、決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを主な授業目的とする。最終的に全国経理教育協会主催簿記検定3級に合格するレベルの知識を身に付けることが到達目標となる。なお、簿記の練習問題を解くにあたり電卓を使用するため、電卓の基本的な操作方法についても授業に含む。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス、簿記の目的、財政状態	佐々木智也	
第2回	簿記における電卓の使用について①	佐々木智也	
第3回	簿記における電卓の使用について②	佐々木智也	
第4回	損益計算書と貸借対照表の関係、経営状態、簿記一巡	佐々木智也	
第5回	取引、仕訳、勘定口座への記入方法、試算表	佐々木智也	
第6回	商品売買の記帳方法、3分法、売掛金と買掛金の記帳方法	佐々木智也	
第7回	返品と値引の記帳法、分記法、仕入諸掛および販売諸掛	佐々木智也	

第8回	手付金（内金）の記帳方法、商品券・他店商品券の記帳方法	佐々木智也
第9回	簿記一巡（決算）	佐々木智也
第10回	決算整理、繰越商品および仕入の決算整理	佐々木智也
第11回	精算表	佐々木智也
第12回	現金の記帳方法	佐々木智也
第13回	当座預金の記帳方法、当座借越の記帳方法	佐々木智也
第14回	手形の記帳方法	佐々木智也
第15回	受取手形および売掛金の決算整理	佐々木智也
第16回	現金過不足および現金の決算整理	佐々木智也
第17回	有価証券、有形固定資産	佐々木智也
第18回	債権及び債務、未収金および未払金の記帳方法	佐々木智也
第19回	有形固定資産の決算整理	佐々木智也
第20回	その他の勘定および訂正仕訳	佐々木智也
第21回	手形貸付金および手形借入金の記帳方法、立替金および預り金の記帳方法	佐々木智也
第22回	仮払金および仮受金の記帳方法、その他の収益および費用	佐々木智也
第23回	資本金と税金	佐々木智也
第24回	費用及び収益の決算整理	佐々木智也
第25回	消耗品および消耗品費の決算整理、引出金の決算整理	佐々木智也

第26回	訂正仕訳	佐々木智也
第27回	損益計算書および貸借対照表①	佐々木智也
第28回	損益計算書および貸借対照表②	佐々木智也
第29回	主要簿と補助簿	佐々木智也
第30回	現金出納帳および当座預金出納帳、小口現金出納帳	佐々木智也
準備学習等	予習は不要である。テキストはもちろんのこと、授業内で電卓を使用するため忘れずに持参すること。	
教科書 参考書等	ALFA3級商業簿記テキスト・問題集・解答集、ステップアップ問題集、過去問題集（大原出版）、簿記能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）、完全分類全経簿記3級商業簿記（英光社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	商業簿記Ⅳ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員		授業回数	13回
科目教員のうち 実務経験教員		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記の基本となる日々の取引の仕訳をできるようになること、決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを主な授業目的とする。最終的に全国経理教育協会主催簿記検定3級に合格するレベルの知識を身に付けることが到達目標となる。なお、簿記の練習問題を解くにあたり電卓を使用するため、電卓の基本的な操作方法についても授業に含む。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	仕入帳・売上帳、売掛金元帳・買掛金元帳	佐々木智也	
第2回	商品有高帳	佐々木智也	
第3回	手形・手形記入帳	佐々木智也	
第4回	試算表の作成①	佐々木智也	
第5回	試算表の作成②	佐々木智也	
第6回	伝票、伝票会計	佐々木智也	
第7回	項目別対策 仕訳問題①	佐々木智也	

第8回	項目別対策 仕訳問題②	佐々木智也
第9回	直前模擬試験①	佐々木智也
第10回	直前模擬試験②	佐々木智也
第11回	直前模擬試験③	佐々木智也
第12回	直前模擬試験④	佐々木智也
第13回	直前模擬試験⑤	佐々木智也
準備学習等	予習は不要である。テキストはもちろんのこと、授業内で電卓を使用するため忘れずに持参すること。	
教科書 参考書等	ALFA3級商業簿記テキスト・問題集・解答集、ステップアップ問題集、過去問題集（大原出版）、簿記能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）、完全分類全経簿記3級商業簿記（英光社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	公務員基礎知識Ⅰ	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		4単位	
		授業回数		40回	
科目教員	佐々木智也	成績 評価 方法	評価試験		70 %
			平常点		30 %
			%		
			%		
科目教員のうち 実務経験教員					%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	公務員になるにあたって必要な知識である一般知識、一般知能分野の理解度を高めることを授業目的とする。模擬試験の実施を通して知識向上を目指し、それらが身に付いた状態となることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	模擬試験				佐々木智也
第2回	模擬試験				佐々木智也
第3回	模擬試験				佐々木智也
第4回	模擬試験				佐々木智也
第5回	模擬試験				佐々木智也
第6回	模擬試験				佐々木智也
第7回	模擬試験				佐々木智也

第8回	模擬試験	佐々木智也
第9回	模擬試験	佐々木智也
第10回	模擬試験	佐々木智也
第11回	模擬試験	佐々木智也
第12回	模擬試験	佐々木智也
第13回	模擬試験	佐々木智也
第14回	模擬試験	佐々木智也
第15回	模擬試験	佐々木智也
第16回	模擬試験	佐々木智也
第17回	模擬試験	佐々木智也
第18回	模擬試験	佐々木智也
第19回	模擬試験	佐々木智也
第20回	模擬試験	佐々木智也
第21回	模擬試験	佐々木智也
第22回	模擬試験	佐々木智也
第23回	模擬試験	佐々木智也
第24回	模擬試験	佐々木智也
第25回	模擬試験	佐々木智也

第26回	模擬試験	佐々木智也
第27回	模擬試験	佐々木智也
第28回	模擬試験	佐々木智也
第29回	模擬試験	佐々木智也
第30回	模擬試験	佐々木智也
第31回	模擬試験	佐々木智也
第32回	模擬試験	佐々木智也
第33回	模擬試験	佐々木智也
第34回	模擬試験	佐々木智也
第35回	模擬試験	佐々木智也
第36回	模擬試験	佐々木智也
第37回	模擬試験	佐々木智也
第38回	模擬試験	佐々木智也
第39回	模擬試験	佐々木智也
第40回	模擬試験	佐々木智也
準備学習等	一般知識、一般知能の各分野について、自分で不足しているという自覚がある範囲はなるべく解決したうえで模擬試験に臨むこと。	
教科書 参考書等	各種模擬試験（大原出版、実務教育出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	

備考	解説等の時間配分については、模擬試験ごとに実施時間が異なるためその日ごとに異なる。解説を聞いてもわからない部分があれば科目教員に必ず質問すること。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。
----	--

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	応用自然科学演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	公務員試験に出題される自然科学分野（生物・地学）の対策を目的として、問題演習を中心に様々な問題に対応できる学力を養うことを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	生物（生体の構造）	比企湖太郎 佐藤弘章	
第2回	生物（生体内の代謝）	比企湖太郎 佐藤弘章	
第3回	生物（生殖と発生）	比企湖太郎 佐藤弘章	
第4回	生物（遺伝と多様性）	比企湖太郎 佐藤弘章	
第5回	生物（刺激と受容と反応）	比企湖太郎 佐藤弘章	
第6回	生物（体内環境の恒常性と調節）	比企湖太郎 佐藤弘章	
第7回	生物（生物の集団・生物の進化と系統）	比企湖太郎 佐藤弘章	

第8回	地学（地球の姿と動く大地・岩石）	比企湖太郎 佐藤弘章
第9回	地学（大気と海洋）	比企湖太郎 佐藤弘章
第10回	地学（太陽系と宇宙の構造）	比企湖太郎 佐藤弘章
準備学習等	・ 予習は不要。各回の授業を必ず受講し、知識が定着するまで復習すること	
教科書 参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタンダード問題集自然科学 問題編/解答解説編（大原学園） ・ テキスト 生物/レジュメ生物（大原出版株式会社） ・ テキスト地学/レジュメ地学（大原出版株式会社） ・ 模擬試験（大原出版株式会社） ・ Monoxer（モノグサ株式会社） 	
備考	・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

		学科	公務員学科（2年課程）	
		学年	1 学年	
科目名	社会人総合実習Ⅳ		授業形態	演習
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		有		
		単位数	4単位	
科目教員	鈴木裕治		授業回数	40回
			成績 評価 方法	課題提出
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	システム開発において、実務に沿った開発フローを行う。 要件定義においては必要機能要件だけでなく、非機能要件についても評価することでより実務に近い開発を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	システム設計及びシステム開発に関する知識、技能を有し、 統合開発環境を用いたプログラミングからデバックまでを実践することができる。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	システム開発演習① システムの設計と構築			鈴木裕治
第2回	システム開発演習② システムの設計と構築			鈴木裕治
第3回	システム開発演習③ システムの設計と構築			鈴木裕治
第4回	システム開発演習④ システムの設計と構築			鈴木裕治
第5回	システム開発演習⑤ システムの設計と構築			鈴木裕治
第6回	システム設計演習①			鈴木裕治
第7回	システム設計演習②			鈴木裕治

第8回	システム設計演習③	鈴木裕治
第9回	システム設計演習④	鈴木裕治
第10回	システム設計演習⑤	鈴木裕治
第11回	システム要件定義①	鈴木裕治
第12回	システム要件定義②	鈴木裕治
第13回	非機能要件①	鈴木裕治
第14回	非機能要件②	鈴木裕治
第15回	システム設計①	鈴木裕治
第16回	システム設計②	鈴木裕治
第17回	システム詳細設計①	鈴木裕治
第18回	システム詳細設計②	鈴木裕治
第19回	ソフトウェア設計①	鈴木裕治
第20回	ソフトウェア設計②	鈴木裕治
第21回	制作企画①	鈴木裕治
第22回	制作企画②	鈴木裕治
第23回	制作企画③	鈴木裕治
第24回	制作企画④	鈴木裕治
第25回	制作企画⑤	鈴木裕治

第26回	制作設計①	鈴木裕治
第27回	制作設計②	鈴木裕治
第28回	制作設計③	鈴木裕治
第29回	制作設計④	鈴木裕治
第30回	制作設計⑤	鈴木裕治
第31回	制作開発①	鈴木裕治
第32回	制作開発②	鈴木裕治
第33回	制作開発③	鈴木裕治
第34回	制作開発④	鈴木裕治
第35回	制作開発⑤	鈴木裕治
第36回	制作開発⑥	鈴木裕治
第37回	制作開発⑦	鈴木裕治
第38回	制作開発⑧	鈴木裕治
第39回	制作開発⑨	鈴木裕治
第40回	制作開発⑩	鈴木裕治
準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。	
教科書 参考書等	スッキリわかるサーブレット&JSP入門 第4版 <input checked="" type="checkbox"/> インプレス モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））	

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。</p> <p>上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>
----	--

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	プログラミング基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語の言語仕様を理解し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング言語の概要	鈴木裕治
第2回	プログラミング言語の仕様① データ型・配列	鈴木裕治
第3回	プログラミング言語の仕様② 制御構造	鈴木裕治
第4回	オブジェクト指向① クラス・オブジェクト	鈴木裕治
第5回	オブジェクト指向② オーバーロード・オーバーライド	鈴木裕治
第6回	オブジェクト指向③ アクセス制御・変数のスコープ	鈴木裕治
第7回	プログラミング演習①	鈴木裕治

第8回	プログラミング演習②	鈴木裕治
第9回	プログラミング演習③	鈴木裕治
第10回	プログラミング演習④	鈴木裕治
準備学習等	コンピュータの基本操作を理解していること。	
教科書 参考書等	スッキリわかるPython入門 第2版(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	プログラミング応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	30回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語を使用してアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ライブラリ	鈴木裕治
第2回	ライブラリ演習	鈴木裕治
第3回	例外処理	鈴木裕治
第4回	例外処理演習	鈴木裕治
第5回	入出力処理① ストリーム	鈴木裕治
第6回	入出力処理演習① ストリーム	鈴木裕治
第7回	入出力処理② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治

第8回	入出力処理演習② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治
第9回	入出力処理③ キーボードからの入力	鈴木裕治
第10回	入出力処理演習③ キーボードからの入力	鈴木裕治
第11回	入出力処理④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治
第12回	入出力処理演習④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治
第13回	マルチスレッド	鈴木裕治
第14回	マルチスレッド演習	鈴木裕治
第15回	GUI コンポーネント	鈴木裕治
第16回	GUI イベント処理	鈴木裕治
第17回	GUI演習	鈴木裕治
第18回	データベース接続 データベースプログラム	鈴木裕治
第19回	データベース接続演習 データベースプログラム	鈴木裕治
第20回	アプリケーション開発	鈴木裕治
第21回	課題制作①	鈴木裕治
第22回	課題制作②	鈴木裕治
第23回	課題制作③	鈴木裕治
第24回	課題制作④	鈴木裕治
第25回	課題制作⑤	鈴木裕治

第26回	課題制作⑥	鈴木裕治
第27回	課題制作⑦	鈴木裕治
第28回	課題制作⑧	鈴木裕治
第29回	課題制作⑨	鈴木裕治
第30回	課題制作⑩	鈴木裕治
準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。	
教科書 参考書等	スッキリわかるPython入門 第2版(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	アプリケーション開発基礎 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なCUI (Character User Interface) アプリケーション開発を行うことができる。		


授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	例外処理とマルチスレッド	鈴木裕治
第2回	コレクションフレームワーク	鈴木裕治
第3回	入出力 (I/O)	鈴木裕治
第4回	ネットワーク	鈴木裕治
第5回	データベース	鈴木裕治
第6回	イベントハンドラ	鈴木裕治
第7回	コンソール	鈴木裕治

第8回	ログ出力	鈴木裕治
第9回	スタックトレース	鈴木裕治
第10回	タイマー	鈴木裕治
第11回	CUIアプリ開発実習①	鈴木裕治
第12回	CUIアプリ開発実習②	鈴木裕治
第13回	CUIアプリ開発実習③	鈴木裕治
第14回	CUIアプリ開発実習④	鈴木裕治
第15回	CUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治
第16回	CUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治
第17回	CUIアプリ開発実習⑦	鈴木裕治
第18回	CUIアプリ開発実習⑧	鈴木裕治
第19回	CUIアプリ開発実習⑨	鈴木裕治
第20回	CUIアプリ開発実習⑩	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>これからWebをはじめる人のHTML&CSS、JavaScriptのきほんのきほん(マイナビ出版) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	アプリケーション開発応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なGUI（Graphical User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	GUIライブラリ	鈴木裕治	
第2回	代表的なコンポーネントとレイアウト	鈴木裕治	
第3回	イベント処理	鈴木裕治	
第4回	その他のコンポーネントとレイアウト①	鈴木裕治	
第5回	その他のコンポーネントとレイアウト②	鈴木裕治	
第6回	その他のコンポーネントとレイアウト③	鈴木裕治	
第7回	描画処理	鈴木裕治	

第8回	マウスイベント処理	鈴木裕治
第9回	データベースの利用①	鈴木裕治
第10回	データベースの利用②	鈴木裕治
第11回	データベースの利用③	鈴木裕治
第12回	ネットワークの利用①	鈴木裕治
第13回	ネットワークの利用②	鈴木裕治
第14回	ネットワークの利用③	鈴木裕治
第15回	GUIアプリ開発実習①	鈴木裕治
第16回	GUIアプリ開発実習②	鈴木裕治
第17回	GUIアプリ開発実習③	鈴木裕治
第18回	GUIアプリ開発実習④	鈴木裕治
第19回	GUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治
第20回	GUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>1冊ですべて身につくJavaScript入門講座  クリエイティブ モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	コンピュータリテラシ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	1単位		
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐久子			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ				
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター				
授業目的 到達目標	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	コンピュータの基本操作			鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	文書作成基礎①			鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	文書作成基礎②			鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	文書作成基礎③			鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	表計算基礎①			鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	表計算基礎②			鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	表計算基礎③	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	プレゼンテーション基礎①	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	プレゼンテーション基礎②	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	情報セキュリティと情報倫理	鈴木裕治 五十嵐久子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>ExcelR表計算処理技能認定試験1・2級問題集（サーティファイ） Word文書処理技能認定試験 1・2級問題集（サーティファイ） PowerPointRプレゼンテーション技能認定試験問題集（サーティファイ）</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	コンピュータリテラシ（表計算）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	作業環境 基礎知識・ブックの表示		鈴木裕治 五十嵐久子
第2回	環境の設定と変更		鈴木裕治 五十嵐久子
第3回	基本操作 セルの書式設定・レイアウト		鈴木裕治 五十嵐久子
第4回	数式と計算 計算機能・関数		鈴木裕治 五十嵐久子
第5回	グラフ グラフ作成/変更		鈴木裕治 五十嵐久子
第6回	オブジェクト 作成・書式		鈴木裕治 五十嵐久子

第7回	データベース機能 入力規則・ピボットテーブル	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	入出力 ページレイアウト・印刷	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	リンク マクロ	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	共有と保護 ワークシート・ワークブックの保護	鈴木裕治 五十嵐久子
第11回	検定対策①	鈴木裕治 五十嵐久子
第12回	検定対策②	鈴木裕治 五十嵐久子
第13回	検定対策③	鈴木裕治 五十嵐久子
第14回	検定対策④	鈴木裕治 五十嵐久子
第15回	検定対策⑤	鈴木裕治 五十嵐久子
第16回	検定対策⑥	鈴木裕治 五十嵐久子
第17回	検定対策⑦	鈴木裕治 五十嵐久子
第18回	検定対策⑧	鈴木裕治 五十嵐久子
第19回	検定対策⑨	鈴木裕治 五十嵐久子
第20回	検定対策⑩	鈴木裕治 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftExcel (FOM出版) Excel表計算処理技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。

		学科	公務員学科 (2年課程)		
		学年	1 学年		
科目名	コンピュータリテラシ (文書処理)		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子		授業回数	20回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ				
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学 (夏季・冬季) 講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター				
授業目的 到達目標	文書処理ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	作業環境 基礎知識・表示とウィンドウ			鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	環境の設定と変更			鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	書式の設定と変更 文字書式・拡張書式・段落書式			鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	書式の設定と変更 段組み・スタイル			鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	ファイル デザイン・レイアウト・印刷			鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	文書編集 改ページ・ヘッダーとフッター			鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	罫線と表 表・デザイン・レイアウト	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	オブジェクト 挿入・書式・配置/整列	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	Excelのワークシート	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 五十嵐久子
第11回	検定対策①	鈴木裕治 五十嵐久子
第12回	検定対策②	鈴木裕治 五十嵐久子
第13回	検定対策③	鈴木裕治 五十嵐久子
第14回	検定対策④	鈴木裕治 五十嵐久子
第15回	検定対策⑤	鈴木裕治 五十嵐久子
第16回	検定対策⑥	鈴木裕治 五十嵐久子
第17回	検定対策⑦	鈴木裕治 五十嵐久子
第18回	検定対策⑧	鈴木裕治 五十嵐久子
第19回	検定対策⑨	鈴木裕治 五十嵐久子
第20回	検定対策⑩	鈴木裕治 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftWord (FOM出版) Word文書処理技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	コンピュータリテラシ (プレゼン)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子	成績評価方法	: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学 (夏季・冬季) 講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	プレゼンテーションソフトの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	作業環境 基礎知識・基本操作	鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	書式設定 フォント・段落・タブ	鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	スライド① デザイン・マスター	鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	スライド② スライドショー・アニメーション	鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	ファイル 共有・エクスポート・印刷	鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	編集 テキスト、オブジェクトの編集	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	罫線と表 作成・編集・レイアウト	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	オブジェクト 図形の書式・メディア	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	校閲	鈴木裕治 五十嵐久子
準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。	
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftPowerPoint (FOM出版) PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集 (サーティファイ)	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	コンピュータリテラシ (データベース)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学 (夏季・冬季) 講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	データベースソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	概要作業環境 基礎知識・環境の設定と変更	鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	データベース データベースの知識・作成・操作	鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	テーブル 作成・操作・ビュー・フィールド	鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	データ 検索・フィルター・データシート	鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	クエリ 作成・操作・プロパティ	鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	リレーションシップ 作成・詳細	鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	フォーム ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	レポート ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	フォームとレポートのセクション コントロール	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	マクロ・式 作成・演算子・関数	鈴木裕治 五十嵐久子
準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。	
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftAccess (FOM出版) Accessビジネスデータベース技能認定試験 問題集 (サーティファイ)	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	システム開発基礎Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治		授業回数	20回	
			成績評価方法	課題提出	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			%	
				%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるフロントエンド開発を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	フロントエンド開発について 開発環境構築			鈴木裕治	
第2回	HTML①			鈴木裕治	
第3回	HTML②			鈴木裕治	
第4回	HTML③			鈴木裕治	
第5回	CSS①			鈴木裕治	
第6回	CSS②			鈴木裕治	
第7回	CSS③			鈴木裕治	

第8回	CSSフレームワーク①	鈴木裕治
第9回	CSSフレームワーク②	鈴木裕治
第10回	CSSフレームワーク③	鈴木裕治
第11回	JavaScript①	鈴木裕治
第12回	JavaScript②	鈴木裕治
第13回	JavaScript③	鈴木裕治
第14回	jQuery①	鈴木裕治
第15回	jQuery②	鈴木裕治
第16回	jQuery③	鈴木裕治
第17回	Webページ制作実習①	鈴木裕治
第18回	Webページ制作実習②	鈴木裕治
第19回	Webページ制作実習③	鈴木裕治
第20回	Webページ制作実習④	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座 [第2版] (SBクリエイティブ) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	システム開発応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。		
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるバックエンド開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	バックエンド開発について 開発環境構築	鈴木裕治
第2回	HTMLとCSSの復習①	鈴木裕治
第3回	HTMLとCSSの復習②	鈴木裕治
第4回	php①	鈴木裕治
第5回	php②	鈴木裕治
第6回	php③	鈴木裕治
第7回	php④	鈴木裕治

第8回	php⑤	鈴木裕治
第9回	php⑥	鈴木裕治
第10回	php⑦	鈴木裕治
第11回	データベース①	鈴木裕治
第12回	データベース②	鈴木裕治
第13回	データベース③	鈴木裕治
第14回	セキュリティ対策	鈴木裕治
第15回	Webシステム開発実習①	鈴木裕治
第16回	Webシステム開発実習②	鈴木裕治
第17回	Webシステム開発実習③	鈴木裕治
第18回	Webシステム開発実習④	鈴木裕治
第19回	Webシステム開発実習⑤	鈴木裕治
第20回	Webシステム開発実習⑥	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座 [第2版] (SBクリエイティブ) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理テクノロジー基礎	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		10回	
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績 評価 方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
			%		
			%		
			%		
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジー分野に関する基本的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	基礎理論				鈴木裕治 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング				鈴木裕治 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素				鈴木裕治 伊藤和子
第4回	システム構成要素				鈴木裕治 伊藤和子
第5回	ソフトウェア				鈴木裕治 伊藤和子
第6回	ハードウェア				鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア				鈴木裕治 伊藤和子

第8回	データベース	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	情報処理マネジメント基礎		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数	1単位		
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する基本的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	システム開発技術			鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	システム開発管理技術			鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	開発プロセス			鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	開発手法			鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	サービスマネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	サービスサポート			鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	情報処理ストラテジ基礎		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	1単位
				授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
		:		%	
科目教員のうち 実務経験教員		:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容		:		%	
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する基本的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	企業活動①			鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	企業活動②			鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	OR・IE			鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	法務①			鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	法務②			鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	経営戦略マネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	ビジネスインダストリ			鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	システム戦略①	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	情報処理テクノロジー応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジー分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	データベース	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理マネジメント応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	開発手法	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 科目B 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科 (2年課程)
学年	1 学年

科目名	情報処理ストラテジ応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	法務②	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	システム戦略①	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理応用演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	アルゴリズム基礎	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		10回	
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績 評価 方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
			%		
			%		
			%		
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造に関する基礎知識を有する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	アルゴリズムの表現方法 フローチャート・疑似言語				鈴木裕治 伊藤和子
第2回	データ構造① 基本データ型				鈴木裕治 伊藤和子
第3回	データ構造② 配列				鈴木裕治 伊藤和子
第4回	データ構造③ リスト構造				鈴木裕治 伊藤和子
第5回	データ構造④ 木構造				鈴木裕治 伊藤和子
第6回	データ構造⑤ その他のデータ構造				鈴木裕治 伊藤和子
第7回	アルゴリズム① サーチアルゴリズム				鈴木裕治 伊藤和子

第8回	アルゴリズム② ソートアルゴリズム	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	アルゴリズム③ 文字列処理	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	アルゴリズム④ 代表的なアルゴリズム	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	アルゴリズム応用	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %
実務経験教員の 実務経験内容			: %
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造についての知識を有し、フローのトレースを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムとデータ構造① 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとデータ構造② 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	アルゴリズムとデータ構造③ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	アルゴリズムとデータ構造④ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	アルゴリズムとデータ構造⑤ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	アルゴリズムとデータ構造⑥ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	アルゴリズムとデータ構造⑦ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	アルゴリズムとデータ構造⑧ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	アルゴリズムとデータ構造⑨ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	アルゴリズムとデータ構造⑩ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報セキュリティ基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	情報セキュリティに関する基礎知識を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	情報セキュリティ① 情報セキュリティの概念	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	情報セキュリティ② 脅威・脆弱性	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	情報セキュリティ③ 攻撃手法・認証	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	情報セキュリティ管理① セキュリティポリシ・ISMS	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	情報セキュリティ管理② リスクアセスメント	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	情報セキュリティ技術評価 セキュリティ評価基準	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	情報セキュリティ対策① 人的セキュリティ対策	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	情報セキュリティ対策② 技術的セキュリティ対策	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	セキュリティ実装技術① ネットワークセキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	セキュリティ実装技術② アプリケーションセキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）	
		学年	1 学年	
科目名	情報セキュリティ応用		授業形態	講義
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無				
		単位数	1単位	
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		授業回数	10回
			成績評価方法	筆記試験
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員				: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する知識・技能を有し、実践的なセキュリティ管理ができる。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	情報セキュリティ全般① 機密性・完全性・可用性			鈴木裕治 伊藤和子
第2回	情報セキュリティ全般② 脅威・脆弱性・サイバー攻撃			鈴木裕治 伊藤和子
第3回	情報セキュリティ全般③ 暗号技術・認証技術			鈴木裕治 伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① 情報資産・リスク			鈴木裕治 伊藤和子
第5回	情報セキュリティ管理② ISMS・インシデント管理			鈴木裕治 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ対策① マルウェア対策			鈴木裕治 伊藤和子
第7回	情報セキュリティ対策② 不正アクセス対策			鈴木裕治 伊藤和子

第8回	情報セキュリティ対策③ 情報漏えい対策	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	情報セキュリティ対策④ アクセス管理	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	情報セキュリティ関連法規	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	ネットワーク基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験
平常点	: 30 %		
	: %		
科目教員のうち実務経験教員			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			: %
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	通信技術・ネットワークに関する基礎知識を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ネットワーク方式① ネットワークの種類と特徴	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	ネットワーク方式② インターネット技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	データ通信と制御① ネットワークアーキテクチャ	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	データ通信と制御② LAN間接続装置・伝送制御	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	通信プロトコル① プロトコルとインタフェース	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	通信プロトコル② プロトコル	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	通信プロトコル③ プロトコル	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	通信プロトコル④ プロトコル	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	通信プロトコル⑤ セキュアプロトコル	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	ネットワーク管理 構成管理・管理ツール	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	ネットワーク応用	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		10回	
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績 評価 方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
			%		
			%		
			%		
科目教員のうち 実務経験教員					%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する応用的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	インターネット① 電子メール				鈴木裕治 伊藤和子
第2回	インターネット② Web				鈴木裕治 伊藤和子
第3回	インターネット③ ファイル転送				鈴木裕治 伊藤和子
第4回	VPN①				鈴木裕治 伊藤和子
第5回	VPN②				鈴木裕治 伊藤和子
第6回	通信サービス① FTTH				鈴木裕治 伊藤和子
第7回	通信サービス② IP電話				鈴木裕治 伊藤和子

第8回	モバイルシステム① モバイル通信サービス	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	モバイルシステム② 構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	モバイルシステム③ LPWA	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	システムアーキテクチャ I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	システムの処理形態・利用形態・適用領域を習得し応用できる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	集中処理システム	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	分散処理システム	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	システム構成	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	ハイパフォーマンスコンピューティング	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	クライアントサーバシステム	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	Webシステム	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ストレージ	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	信頼性設計	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システムの評価指標① システムの性能特性と評価	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システムの評価指標② システムの信頼性特性と評価	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理入門テクノロジー	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		1単位	
		授業回数		10回	
科目教員	鈴木裕治	成績 評価 方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
			%		
			%		
			%		
科目教員のうち 実務経験教員					
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なテクノロジー分野の知識を有する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	基礎理論				鈴木裕治
第2回	アルゴリズムとプログラミング				鈴木裕治
第3回	コンピュータ構成要素				鈴木裕治
第4回	システム構成要素				鈴木裕治
第5回	ソフトウェア				鈴木裕治
第6回	ハードウェア				鈴木裕治
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア				鈴木裕治

第8回	データベース	鈴木裕治
第9回	ネットワーク	鈴木裕治
第10回	セキュリティ	鈴木裕治
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題（インプレス） かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理入門マネジメント	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なマネジメント分野の知識を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム開発技術	鈴木裕治	
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治	
第3回	開発プロセス	鈴木裕治	
第4回	開発手法	鈴木裕治	
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治	
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治	
第7回	サービスサポート	鈴木裕治	

第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治
第9回	システム監査	鈴木裕治
第10回	内部統制	鈴木裕治
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題（インプレス） かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	公務員学科（2年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	情報処理入門ストラテジ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	1単位
				授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	企業活動①			鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	企業活動②			鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	OR・IE			鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	法務①			鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	法務②			鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	経営戦略マネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	ビジネスインダストリ			鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	システム戦略①	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題（インプレス） かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	公務員学科（2年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理入門演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的な問いに対して、正確に解答することができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治	
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治	
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治	
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治	
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治	
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治	
第7回	総合問題演習（CBT）①	鈴木裕治	

第8回	総合問題演習 (CBT) ②	鈴木裕治
第9回	総合問題演習 (CBT) ③	鈴木裕治
第10回	総合問題演習 (CBT) ④	鈴木裕治
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題 (インプレス) かんたん合格ITパスポート過去問題集 (インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	